

科目名	科目担当代表教員	ページ数
生涯スポーツⅠ	平岡 英樹	2
生涯スポーツⅠ	平岡 英樹	7
ファイナンシャルプランニング	小山田 健	12
ディベートⅢ	Richardson Peter	17
ビジネスイングリッシュ	Joseph S Tomasine	22
英語学概論	高橋 保夫	27
現代日本語論	岡本 佐智子	32
国際関係論Ⅱ	吉田 勉幸	37
国際関係論Ⅳ	渡部 淳	42
国際関係論Ⅴ	宮本 融	47
日本語コミュニケーション技法	小西 正人	52
日本語表現技法Ⅰ	矢部 玲子	57
スピーチⅠ	Walzem Allen George	62
ディベートⅠ	Todd Robert Enslen	67
映画で学ぶ英語Ⅰ	釣 晴彦	72
時事問題・ディスカッションⅠ	Richardson Peter	77
地域研究Ⅲ	魯 諍	82
キャリア形成	小山田 健	87
中学校教育実習	常田 拓孝	91

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		教養科目 教養科目					
科目名		生涯スポーツ I (1組)				ナンバリング	1196
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	平岡 英樹						
授業の位置づけ							
様々なスポーツについての理解と実践方法を学ぶための科目である。 「日常生活で適切な道徳観、倫理観を持ち、主体的に行動する。」ための科目である。							
授業の概要							
体育としてのスポーツ、楽しみ実践するスポーツ、レクリエーションとスポーツ、競技としてのスポーツ等々について概念を明確にする。また、健康的で楽しい生活を送るためのスポーツ活動の意義を理解し、具体的な実技を通して、個々の身体的・精神的な健康レベルを向上させながら、生涯学習とは何か、生涯学習に果たすスポーツの役割について考察し、生涯にわたってスポーツを継続していくための基礎知識を習得する。							
到達目標							
①スポーツ・運動することの楽しさや重要性を理解することができるようになる。 ②ルールやマナーを理解し、ゲームを通して仲間を尊重するところを育てることができるようになる。 ③日常生活において健康への意識を高め、体力の維持・増進を目指せるようになる。 ④生涯を通じて積極的に且つ楽しく、スポーツや運動に親しむ意識を持ち、それを習慣化できるようになる。							
授業の方法							
チーム(グループ)分けをし、ゲームを中心として進める。 ゲーム内容や勝敗をもとに、技術の習得やチームワーク等を確認する。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
フィードバックとしては、ゲームによる個人技術の確認と評価			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	授業内容についてのガイダンス 授業内容の説明、受講上の注意事項、評価等についての解説する。	シラバスで授業の内容を確認する。(20分)	受講に関しての注意事項等を確認する。(25分)
担当教員			
第2回	ソフトバレーボール(1) 基礎的なパス練習・アタック練習を行う。	ソフトバレーボールとはどのような競技なのかを調べておく。(20分)	基礎技術・ルールを確認する。(25分)
担当教員			
第3回	ソフトバレーボール(2) 練習した技術をゲームの中で活用する	戦術・コンビネーションプレーを考える。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第4回	バドミントン・卓球(1) 基礎・応用練習ーサーブ・様々なストローク・ショットの練習を行う。	簡単なルールを調べる。(20分)	基本技術・ルールの確認。(25分)
担当教員			

第5回	バレーボール(1) ゲーム(チームプレー)ー2人・3人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第6回	バレーボール(2) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第7回	バレーボール(3) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第8回	バレーボール④ ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第9回	バスケットボール(1) 基礎・応用練習ーパス・シュート練習、2人・3人のプレーの練習を行う。	簡単なルールを調べる。(20分)	基礎技術・ルールを確認する。(25分)
担当教員			
第10回	バスケットボール(2) ゲーム(技術の活用)ーパス・シュートをゲームの中で活用する。	簡単なルールを調べる。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			

第11回	アウトドアスポーツ(1) ソフトボールー基本練習(キャッチ・スロー・バッティング)を行う。 テニスー基本練習(フォアハンド・バックハンド)を行う。	屋外スポーツの重要性・注意事項を考える。(20分)	学習・実施した内容を今後どのように生かすか考える。(25分)
担当教員			
第12回	アウトドアスポーツ(2) ソフトボールーゲーム(キャッチ・スロー・バッティング技術を活用)を行う。 テニスーラリー(フォアハンド・バックハンド技術を活用)を行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第13回	バドミントン(2) ゲーム(技術の応用・コンビネーションプレー)ーシングルス・ダブルスによるゲームを行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第14回	バスケットボール(3) ゲーム(技術の応用)ー個人・2人・3人のプレーをゲームで活用する。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第15回	バスケットボール(4) ゲーム(チームプレー)ー個人・2人・3人・4人・5人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	15回の授業を通し、生涯スポーツの意義や重要性についての考えをまとめる(25分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	平常点80%(準備・片付け・受講態度など)、レポート等課題提出による評価20%	

その他	0	なし
教科書		
なし		
参考文献		
特になし、必要に応じて資料を配付		
履修条件・留意事項等		
ジャージ等の運動・スポーツに適した服装・スポーツシューズ(屋内用)を着用して受講すること 屋外で行う場合は屋外用のスポーツシューズを着用して受講すること 天候その他状況により種目に変更となる場合がある 積極的にプレーに参加すること		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		教養科目 教養科目					
科目名		生涯スポーツ I (2組)				ナンバリング	1196
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員	平岡 英樹						
授業の位置づけ							
様々なスポーツについての理解と実践方法を学ぶための科目である。 「日常生活で適切な道徳観、倫理観を持ち、主体的に行動する。」ための科目である。							
授業の概要							
体育としてのスポーツ、楽しみ実践するスポーツ、レクリエーションとスポーツ、競技としてのスポーツ等々について概念を明確にする。また、健康的で楽しい生活を送るためのスポーツ活動の意義を理解し、具体的な実技を通して、個々の身体的・精神的な健康レベルを向上させながら、生涯学習とは何か、生涯学習に果たすスポーツの役割について考察し、生涯にわたってスポーツを継続していくための基礎知識を習得する。							
到達目標							
①スポーツ・運動することの楽しさや重要性を理解することができるようになる。 ②ルールやマナーを理解し、ゲームを通して仲間を尊重するところを育てることができるようになる。 ③日常生活において健康への意識を高め、体力の維持・増進を目指せるようになる。 ④生涯を通じて積極的に且つ楽しく、スポーツや運動に親しむ意識を持ち、それを習慣化できるようになる。							
授業の方法							
チーム(グループ)分けをし、ゲームを中心として進める。 ゲーム内容や勝敗をもとに、技術の習得やチームワーク等を確認する。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
ゲームによる個人技術の確認と評価			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	授業内容についてのガイダンス 授業内容の説明、受講上の注意事項、評価等についての解説する。	シラバスで授業の内容を確認する。(20分)	受講に関しての注意事項等を確認する。(25分)
担当教員			
第2回	ソフトバレーボール(1) 基礎的なパス練習・アタック練習を行う。	ソフトバレーボールとはどのような競技なのかを調べておく。(20分)	基礎技術・ルールを確認する。(25分)
担当教員			
第3回	ソフトバレーボール(2) 練習した技術をゲームの中で活用する	戦術・コンビネーションプレーを考える。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第4回	バドミントン・卓球(1) 基礎・応用練習ーサーブ・様々なストローク・ショットの練習を行う。	簡単なルールを調べる。(20分)	基本技術・ルールの確認。(25分)
担当教員			

第5回	バレーボール(1) ゲーム(チームプレー)ー2人・3人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第6回	バレーボール(2) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第7回	バレーボール(3) ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第8回	バレーボール④ ゲーム(チームプレー)ー6人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第9回	バスケットボール(1) 基礎・応用練習ーパス・シュート練習、2人・3人のプレーの練習を行う。	簡単なルールを調べる。(20分)	基礎技術・ルールを確認する。(25分)
担当教員			
第10回	バスケットボール(2) ゲーム(技術の活用)ーパス・シュートをゲームの中で活用する。	簡単なルールを調べる。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			

第11回	アウトドアスポーツ(1) ソフトボールー基本練習(キャッチ・スロー・バッティング)を行う。 テニスー基本練習(フォアハンド・バックハンド)を行う。	屋外スポーツの重要性・注意事項を考える。(20分)	学習・実施した内容を今後どのように生かすか考える。(25分)
担当教員			
第12回	アウトドアスポーツ(2) ソフトボールーゲーム(キャッチ・スロー・バッティング技術を活用)を行う。 テニスーラリー(フォアハンド・バックハンド技術を活用)を行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第13回	バドミントン(2) ゲーム(技術の応用・コンビネーションプレー)ーシングルス・ダブルスによるゲームを行う。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第14回	バスケットボール(3) ゲーム(技術の応用)ー個人・2人・3人のプレーをゲームで活用する。	技術・戦術の確認。(20分)	実施の内容と感想を書きとめておく。(25分)
担当教員			
第15回	バスケットボール(4) ゲーム(チームプレー)ー個人・2人・3人・4人・5人のプレーを応用したチームプレー(攻撃・守備)でゲームを行う	技術・戦術の確認。(20分)	15回の授業を通し、生涯スポーツの意義や重要性についての考えをまとめる(25分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	平常点80%(準備・片付け・受講態度など)、レポート等課題提出による評価20%	

その他	0	なし
教科書		
なし		
参考文献		
特になし、必要に応じて資料を配付		
履修条件・留意事項等		
ジャージ等の運動・スポーツに適した服装・スポーツシューズ(屋内用)を着用して受講すること 屋外で行う場合は屋外用のスポーツシューズを着用して受講すること 天候その他状況により種目が変更となる場合がある 積極的にプレーに参加すること		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		教養科目 教養科目					
科目名		ファイナンシャルプランニング				ナンバリング	3436/1142
配当年次	3年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	小山田 健、小西 正人、矢部 玲子						
授業の位置づけ							
社会人として必須の金融管理の知識を身に付ける。授業内容は日本FP協会認定資格の取得を目指した授業となる。主として同資格を取得したい学生向けの授業であるが、授業内容の性質上、幅広く金融に関する知識を修得したいという学生であれば資格取得を目的としない学生についても歓迎する。「経営財務分析」の基礎となる。北海道、日本及び世界諸地域の課題に対応できる情報処理や分析の能力、論理的・批判的な思考や判断をする能力を身につけている。(思考・判断・表現)。問題解決のために必要な情報を収集分析し、適切な判断を主体的に下すことができる(思考・判断・表現)。							
授業の概要							
本講は金融に関する知識と経済の仕組みを包括的に学ぶことを目的とする講座である。具体的にはファイナンシャル・プランニングの資格取得を目標とする。個人をとりまく経済・金融環境が急速に変化し、生活者としての個人にも自己責任が求められる場面が増え、「生きる力」の養成が急務となっている。このような環境の下で、ファイナンシャル・プランニングの資格検定学習を通じて、金融の包括的かつ実践的な知識を身につけ、今後の人生に資する力を身につけることを目指す。							
到達目標							
1. 自分のライフスタイルや価値観、経済環境を確認できる。 2. 自分の家族状況、収入と支出の内容、資産、負債、保険などのデータから、現状を分析できるようになる。 3. 様々な領域にわたる包括的なアプローチによって、必要なファイナンシャル・プランナーとして最小限必要な知識を学び、少なくとも国家資格(FP技能士)3級取得へ意識化できる。							
授業の方法							
配布教材とプリントを配布して講義形式ですすめる。夏季期間における集中講義であるので履修登録の際に注意すること。事前ガイダンスを実施するので必ず参加すること。 フィードバックとして理解度を確認するための質問と解説を適宜実施する。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

外部講師(詳しくはオリエンテーション時にお伝えします)			
課題に対するフィードバックの方法			
フィードバックとして理解度を確認するための質問と解説を適宜実施する。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション 授業の進め方、評価方法、指定教科書、勉強方法などを説明し、FP3級資格に求められる基本知識を概説する。	FP資格の活かし方を考えてレポート形式でまとめること(90分)	FP資格取得に向けたスケジュールの作成(90分)
担当教員			
第2回	ライフプランニングと資金計画(1) FPの倫理、関連法規、FPの考え方・手法について学ぶ。	参考書の該当箇所をノートにまとめること(90分)	授業で学んだ内容を問題集で確認し、まとめること(90分)
担当教員			
第3回	ライフプランニングと資金計画(2) 社会保険、年金、年金と税金、資金計画、ローンとカードについて学ぶ。	参考書の該当箇所をノートにまとめること(90分)	授業で学んだ内容を問題集を通じて確認しておくこと(90分)
担当教員			
第4回	リスク管理(1) リスクマネジメント、保険制度全般、生命保険の基礎・商品について学ぶ。	参考書の該当箇所をノートにまとめること(90分)	授業で学んだ内容を問題集を通じて確認しておくこと(90分)
担当教員			

第5回	リスク管理(2) 損害保険の基礎・商品、第三分野の保険、保険と税金について学ぶ。	参考書の該当箇所をノートにまとめておくこと(90分)	授業で学んだ内容を問題集を通じて確認しておくこと(90分)
担当教員			
第6回	金融資産運用(1) マーケット環境、預貯金・金融類似商品、投資信託、債券投資について学ぶ。	参考書の該当箇所をノートにまとめておくこと(90分)	授業で学んだ内容を問題集を通じて確認しておくこと(90分)
担当教員			
第7回	金融資産運用(2) 株式投資、外貨建商品、金融派生商品、ポートフォリオについて学ぶ。	参考書の該当箇所をノートにまとめておくこと(90分)	授業で学んだ内容を問題集を通じて確認しておくこと(90分)
担当教員			
第8回	金融資産運用(3) 金融商品と税金、セーフティネット、関連法規について学ぶ。	参考書の該当箇所をノートにまとめておくこと(90分)	授業で学んだ内容を問題集を通じて確認しておくこと(90分)
担当教員			
第9回	タックスプランニング(1) 日本の税制、所得税の仕組み、各種所得、損益通算について学ぶ。	参考書の該当箇所をノートにまとめておくこと(90分)	授業で学んだ内容を問題集を通じて確認しておくこと(90分)
担当教員			
第10回	タックスプランニング(2) 日本の税制、所得税の仕組み、各種所得、損益通算について学ぶ。	参考書の該当箇所をノートにまとめておくこと(90分)	授業で学んだ内容を問題集を通じて確認しておくこと(90分)
担当教員			

第11回	不動産(1) 不動産の見方、取引、法令上の規則、取得・保有に伴う税金について学ぶ。	参考書の該当箇所をノートにまとめおくこと(90分)	授業で学んだ内容を問題集を通じて確認しておくこと(90分)
担当教員			
第12回	不動産(2) 不動産の見方、取引、法令上の規則、取得・保有に伴う税金について学ぶ。	参考書の該当箇所をノートにまとめおくこと(90分)	授業で学んだ内容を問題集を通じて確認しておくこと(90分)
担当教員			
第13回	相続・事業承継(1) 贈与と法律、贈与と税金について学ぶ。	参考書の該当箇所をノートにまとめおくこと(90分)	授業で学んだ内容を問題集を通じて確認しておくこと(90分)
担当教員			
第14回	相続・事業承継(2) 贈与と法律、贈与と税金について学ぶ。	参考書の該当箇所をノートにまとめおくこと(90分)	授業で学んだ内容を問題集を通じて確認しておくこと(90分)
担当教員			
第15回	重要ポイントのまとめ 試験出題頻度の高い項目の再学習を行う。	参考書の該当箇所をノートにまとめおくこと(90分)	授業で学んだ内容を問題集を通じて確認しておくこと(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業参加度(授業内タスクシート作成含む)70%、課題30%。	

その他	0	
教科書		
授業前に最新の『FP攻略本3級』を配布する。		
参考文献		
FP技能士資格取得に推奨できるテキスト、問題集を適宜紹介する。		
履修条件・留意事項等		
留意事項等 全ての回の講義への積極的参加を必須とする。 集中講義方式で履修するので、開講時期・場所等について学科掲示板での告知に注意を払い、初回ガイダンスには必ず出席すること。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		ディベートⅢ				ナンバリング	4842
配当年次	4年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	Richardson Peter						
授業の位置づけ							
Building on all the language and critical thinking skills gained in Debate 2, students will take the next step by engaging in a series of six debates spread over the whole semester. This class is only for students who have successfully completed Debate 2. 4技能(聴く、話す、読む、書く)の運用能力を高め、実践の場で活用することができる。(知識・技能) 問題解決のために必要な情報を収集分析し、適切な判断を主体的に下すことができる。(思考・判断・表現)							
授業の概要							
This class will be entirely in English and is only meant for students who already know how to write and deliver opinion speeches, research complex topics, distinguish between untrustworthy and trustworthy sources, critically assess speeches given by other students and use data and arguments to counter points presented by other students.							
到達目標							
The aim of this class is to: (1) Equip students with the skills necessary to express complex ideas while critically evaluating the ideas of others. (2) Enhance key language and debate structuring skills. (3) Develop the students' ability to critically reflect upon and engage with some important topics related to the modern world.							
授業の方法							
The class will focus on vocabulary building, group discussion, speech writing, public speaking, and learning how to effectively listen to and respond to the ideas of others.							
ICT活用							
Students will be expected to use Google Classroom to study lesson content before each class. They will also be expected to do extensive online research in order to prepare for each debate.							
実務経験のある教員の教育内容							

none			
課題に対するフィードバックの方法			
All speeches and debates will be checked and feedback will be provided on how to improve.			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	Explanation of the syllabus and introduction to the course.	Read the syllabus and note down any questions you want to ask. 90分	Review the content of the syllabus and reflect on the themes and goals. 90 分
担当教員			
第2回	The tennis debate framework and the notion of resolutions are reviewed. Key concepts and vocabulary are then explained, which are then consolidated through debating practice topics.	Study the course content for week 2 and carefully check any words you don't understand. 90 分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第3回	The students are split into opposing debate teams to prepare and take part in the first debate: [1] The way English is taught in Japan from elementary school to university needs to be completely changed.	Study the course content and debate topic for week 3 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第4回	The importance of style and body language is explored through discussion and practical activities.	Study the course content for week 4 and carefully check any words you don't understand. 90 分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			

第5回	The students are split into opposing debate teams to prepare and take part in the second debate: [2] Donald Trump was a very effective American President.	Study the course content and debate topic for week 5 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第6回	The debate structure of signposting, explaining, connecting, and impacting your point is reviewed. More key vocabulary is introduced before completing practice activities.	Study the course content for week 6 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第7回	The focus of this lesson is a review of two types of speeches: the first affirmative constructive and first negative constructive speeches. The midterm debate topic will also be introduced: [3] Religion and traditions influenced by religion should play a crucial part in modern Japanese society.	Study the course content and debate topic for week 7 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第8回	Students complete the midterm vocabulary test, and midterm debate speeches.	Review the content for the first half of the course and prepare for the midterm test and debate speeches. 90分	Reflect on the test and speeches. Try to identify your weaknesses and the gaps in your knowledge and how to address them. 90分
担当教員			
第9回	The students are split into opposing debate teams to prepare and take part in the fourth debate: [4] Chat GPT will have a negative impact on education.	Study the course content and debate topic for week 9 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第10回	The focus of this lesson is point-by-point and holistic reasoning. These aspects are explained and consolidated through practical activities.	Study the course content for week 10 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			

第11回	The students are split into opposing debate teams to prepare and take part in the fifth debate: [5] Science will one day be able to explain everything.	Study the course content and debate topic for week 11 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第12回	The focus of this lesson is a review of two more types of speeches: second affirmative constructive and second negative constructive speeches. The notions of refuting and dropping points will also be explored.	Study the course content for week 12 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第13回	The students are split into opposing debate teams to prepare and take part in the sixth debate: [6] Accepting more refugees and immigrants will create more problems than it solves in Japanese society.	Study the course content and debate topic for week 13 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第14回	The notion of rebuttals and judging who has lost a debate will be explored. The final debate topic will also be introduced and discussed.	Study the course content for week 12 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第15回	Students complete the final vocabulary test and final debate speeches. The topic for the debate will be provided in week 14.	Review the content of the course and prepare for the final test and debate speeches. 90分	Consolidate the course content. 90分
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	midterm assessments: 40%; final assessments: 40%; participation: 20%	

その他	0	
教科書		
There is no textbook for this course.		
参考文献		
There are no reference texts for this course.		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		ビジネスイングリッシュ				ナンバリング	2418
配当年次	3年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	Joseph S Tomasine						
授業の位置づけ							
本科目は、ディプロマポリシー「問題解決のために必要な情報を収集分析し、適切な判断を主体的に下すことができる」等に関連する科目である。そのため本科目は、国際言語学科のカリキュラムの全ての科目につながる。							
授業の概要							
この授業は、実際のビジネスの場面での英語を用いたコミュニケーション能力の育成を目的としたものである。授業では、職場での同僚とコミュニケーション、顧客とのコミュニケーションを想定した言語活動を通し、主にスピーキング、リスニング能力の向上を目標とする。							
到達目標							
この授業は、実際のビジネスの場面での英語を用いたコミュニケーション能力の育成を目的としたものである。授業では、職場での同僚とコミュニケーション、顧客とのコミュニケーションを想定した言語活動を通し、主にスピーキング、リスニング能力の向上を目標とする。							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher’s instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, groupwork as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
This class utilizes Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable.			
課題に対するフィードバックの方法			
The teacher will give feedback by explaining the answers to the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments, as applicable.			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	今回の授業では、授業の進め方、課題、評価について。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み質問を作成する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を立てる。(90分)
担当教員			
第2回	このレッスンでは、自己紹介、挨拶、握手などの課題に参加します。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を調整する。(90分)
担当教員			
第3回	このレッスンでは、会話を作るなどの課題に参加します。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を調整する。(90分)
担当教員			
第4回	このレッスンでは、動画や読み物を通して会社のことを知るなどの課題に参加していきます。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を調整する。(90分)
担当教員			

第5回	このレッスンでは、レッスン2ー5で学んだことを復習しながら、自己紹介や、挨拶、握手、会話を作ること、動画や読み物の活用の仕方等を様々な場面や相手に合わせて応用する課題に参加します。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を調整する。(90分)
担当教員			
第6回	このレッスンでは、商品提案書の作成などの課題に参加します。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を調整する。(90分)
担当教員			
第7回	このレッスンでは、エレベーターピッチの動画を1本作成するなどの課題に参加します。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を調整する。(90分)
担当教員			
第8回	このレッスンでは、1本目のエレベーターピッチ動画の作成で覚えたこととその出来を反省し、計画を建ててから2本目のエレベーターピッチ動画を作成する課題に参加します。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を調整する。(90分)
担当教員			
第9回	このレッスンでは、エレベーターピッチ動画を作成するプロセスを振り返って、コミュニケーションのツールとしての動画という媒体の性質を考え直す課題に参加します。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を調整する。(90分)
担当教員			
第10回	このレッスンでは、レッスン6ー9で学んだことを復習しながら、エレベーターピッチの動画作成で覚えたスキルを、様々な相手に合わせて動画コンテンツの作成を行うことによって、応用する課題に参加します。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を調整する。(90分)
担当教員			

第11回	今回のレッスンでは、SWOT分析レポートの企画・アウトライン化などの課題に参加します。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を調整する。(90分)
担当教員			
第12回	このレッスンでは、SWOT分析レポートの作成や編集などの課題に参加します	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を調整する。(90分)
担当教員			
第13回	この授業では、ポスター発表の意義、必要なスキル、プロセス等を検討する課題に参加します。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を調整する。(90分)
担当教員			
第14回	この授業では、ポスター発表とフィードバック提供を相互に行う課題に参加します。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を調整する。(90分)
担当教員			
第15回	この授業では、今まで習ったことを復習して、授業内試験を受けます。	Googleクラスルームを確認しシラバスを読み、教科書を予習する。(90分)	クラスディスカッションを振り返り、ノートを整理して学習計画を反省する。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	No such test	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Weekly quizzes 50 In-class test 50	

その他	0	Not applicable
教科書		
Widgets Inc. A task-based course in workplace English, Marcos Benevides & Chris Valvona, ATAMA-ii BOOKS		
参考文献		
Will be handed out in class		
履修条件・留意事項等		
Not applicable		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		英語学概論				ナンバリング	3618
配当年次	2年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	高橋 保夫						
授業の位置づけ							
問題解決のために必要な情報を収集分析し、適切な判断を主体的に下すことができる、という【思考・判断・表現】と関連する科目である。							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
授業中に確認テストを行い、その解説を行う。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション 授業内容を説明する。評価方法を説明する。実際に少し進めながら、授業方法を説明する。 第1章 世界の中の英語(1) 世界語としての英語について学ぶ。	英語の地理的分布、使用人口、使用分野について確認しておく。(90分)	古英語の背景について確認しておく。(90分)
担当教員			
第2回	英語の歴史(1) 古英語について学ぶ。	古英語の背景について確認しておく。(90分)	ごく大雑把でいいので古英語と現代英語の違いを記憶しておく。(90分)
担当教員			
第3回	英語の歴史(2) 中英語、近代英語について学ぶ。	中英語とフランス語の影響について確認しておく。(90分)	中英語と近代英語の発音の違いの原因、大母音推移について整理しておく。(90分)
担当教員			
第4回	音声学 発音器官、母音と子音について学ぶ。	英語にはどのような母音と子音があるのか、確認しておく。(90分)	調音位置、調音法による音の分類を整理しておく。(90分)
担当教員			

第5回	第5章 音韻論 音韻過程について学ぶ。	英語にはどのような母音と子音があるのか、確認しておく。(90分)	連結、同化、脱落などの音変化について整理しておく(90分)
担当教員			
第6回	第6章 形態論 語の内部構造について学ぶ。	形態素とはどのようなものなのか、確認しておく。(90分)	語形成の方法について整理しておく。(90分)
担当教員			
第7回	第7章 統語論(1) 文の構造 構成素、統語範疇、樹形図などを学ぶ。	各統語範疇の英語名、略記を覚えてくる。(90分)	樹形図に盛り込まれている情報を理解しておく。(90分)
担当教員			
第8回	第8章 統語論(2) 句の構造 句構造規則を学ぶ。	教科書を読んでくる。(90分)	いろいろな句を句構造規則で表せるようにしておく。(90分)
担当教員			
第9回	第9章 統語論(3) Xバー理論 句の間の共通性について学ぶ。	句の種類に関係なく、構成が似ていることを確認しておく。(90分)	Xバー原型が句の構成に関して明らかにしていることを整理しておくこと。(90分)
担当教員			
第10回	第10章 統語論(4) 節の構造 Xバー原型に合わせると、文は助動詞中心に構成され、従属節は補文標識中心に構成されていることを学ぶ。(90分)	参考文献で助動詞と時制要素が二者択一であることを確認しておく。(90分)	主要部、補部、付加部、指定部などをすぐに区別できるようにしておく。(90分)
担当教員			

第11回	第11章 統語論(5) 文と文との近縁関係からD構造とS構造を仮定したことを学ぶ。	参考文献でD構造とS構造を結びつける操作を確認しておく。(90分)	移動があった証拠となるものをいくつか記憶しておく。(90分)
担当教員			
第12回	第12章 意味論(1) さまざまな意味関係のうち、多義性と同義性について学ぶ。	多義性の多様性について確認しておく。(90分)	能動文と受動文の同義性について考えてみる。(90分)
担当教員			
第13回	第13章 意味論(2) 意味変化について学ぶ。	意味変化の種類について確認する。(90分)	意味変化のメカニズムについて考えてみる。(90分)
担当教員			
第14回	第14章 意味論(3) 意味役割について学ぶ。	素性で表したほうが、共通性を捉えることができることを理解してくる。(90分)	項と意味役割の受け渡しについて復習しておく。(90分)
担当教員			
第15回	第15章 まとめ 総まとめをする	総復習をしていくこと。(90分)	この授業のポイントを整理しておくこと。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業内試験 60% 課題提出 20% 小テスト 20%	

その他	0	なし。
教科書		
『新 えいご・エイゴ・英語学』稲木昭子 堀田知子 沖田知子著 松柏社		
参考文献		
授業内で指示する。		
履修条件・留意事項等		
事前事後学習をしっかりとすること。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		現代日本語論				ナンバリング	2468
配当年次	3年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員		岡本 佐智子					
授業の位置づけ							
現代日本語の変化を説明できるようになるため、実際の日本語使用に主眼を置いた高度な日本語の運用能力を身につける(知識・技能)ための科目である。社会人基礎力としての日本語表現の向上を目指し、目的や場に合わせた適切な日本語運用を身につけ(知識・技能)、日本語を用いた日常生活で適切な道徳観、倫理観を持ち、主体的に他者との共生・協働することを可能とする柔軟で前向きなコミュニケーション能力を備えて(関心・意欲・態度)いく。 「日本語表現技法Ⅰ・Ⅱ」「日本語コミュニケーション技法」「日本語学」に続く科目で、「実用日本語」分野科目である。							
授業の概要							
この授業は、現代日本語の変化を社会言語学的視点で分析し、ことばと社会の関係、つまり、ことばは社会を映し出す鏡であることを検証していく。日本社会における独特な「役割語」を糸口に、社会的立場による言語使用のパラエティーから、対人関係の親疎やポリティカルコレクトネスと差別語、女ことば等から、社会変化とともに変化することばと変わらないことばの核を眺めていく。受講生は指定テーマごとに調査・発表をし、ディスカッションしていく。たとえば、新語流行語と言語消費、若者ことばの造語法、言語景観やピクトグラムから多言語社会における言語サービスのあり方、アイヌ語や手話など少数派とされる人々の言語権を考えていく。							
到達目標							
1 敬語も含めて「正しい」日本語運用を意識化できる。 2 現代日本語の変化に敏感に気づけるようになる。 3 若者ことばとフォーマルな表現等、場に合わせた使い分けができる。 4 方言を含めた「役割語」が説明できる。							
授業の方法							
各授業の前半はスライドや配布プリントを使って講義形式で行い、後半はその項目に関連したワークショップと振り返り作業を中心に行う。受講生には発表やプレゼンテーション(2回)と確認テスト(1回)を予定している。							
ICT活用							
課題や資料配付、質問等はGoogle Classroom を活用する。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当しない。			
課題に対するフィードバックの方法			
課題は次回の授業時にコメントを添えて個別返却し、授業内で全体の講評を行う。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション 現代の日本語の問題点は何か、自分の日本語運用での問題点はなにかをグループごとに意見交換していく	近年の日本語のことば遣いに関する問題を具体的に3つ以上考えてくる。(90分)	スマホにおける各自の日本語文の使用パターンを整理しておく(90分)
担当教員			
第2回	日本語表現の変化Ⅰ 過去10年間、日本人の日本語使用の変化を概説する。日本人の言語コミュニケーションにおける単語選択とその意味変化と日本語音声の変化ルールを演習を通して学ぶ。	正しい日本語とはどのようなことか、事例を2つ以上あげ、説明できるようにしておく(90分)	ゆれている日本語表現を5つ以上探して、使用事例を書いておくこと(90分)
担当教員			
第3回	日本語表現の変化Ⅱ 現代の日本語をめぐる諸問題について概説する。「気になる言い方」について、自身の言語表現と照らし合わせ、その運用傾向を振り返る。	「すごっ」「寒っ」といった話し言葉における形容詞の感情表現の文法規則を考えておく(90分)	世代差のある日本語語彙使用を5つ選び、表現特徴を考えておくこと(90分)
担当教員			
第4回	役割語と現代の若者ことば 役割語からことばとアイデンティティーについてを講義する。受講者はグループごとに、近年の若者ことばの特徴とその使い方を発表し、世代別の言語運用の特徴を確認していく。	現代の若者語はどのようにして作られ、どのような場で用いるのか、自身の言語使用経験から分析しておく(90分)	北海道方言を10以上あげ、その使用場面をまとめておく(90分)
担当教員			

第5回	日本語における方言の役割 方言とはどのような役割をになっているのか、東日本大地震時の避難所コミュニティや医療用語から概説する。	北海道方言の特徴を具体例を10以上あげて説明できるように整理しておくこと(90分)	特定の地域方言についてグループでその具体的運用例をまとめておくこと(90分)
担当教員			
第6回	方言コミュニケーション 受講生は各自が選択した方言の特徴とその使い方をプレゼンテーションし、日本の代表的な方言の使い方を共用する。	指定の各方言の特徴をその具体的使用例をあげ、プレゼンの準備をしておく(90分)	方言の格差について、ネットではどのような地位が与えられているかを調べておくこと(90分)
担当教員			
第7回	ことば遣いの効果的な活用とは 「女ことば」をはじめ日本語の多様な役割語を通して、心理的に結び付けられたスピーチスタイルとその効果を分析していく。	ある表現が特定の人物像を造るキャラ語を8つ以上収集しておくこと(90分)	多様な表現を分類し、その分類基準を説明できるようにしておくこと(90分)
担当教員			
第8回	適切な表現とは ことばによる差別や不適切な表現とは何か。マイクロアグレッションのいろいろを自身の体験と他者の言語感覚についてディスカッションしていく	差別語や放送禁止用語を10以上リストアップし、なぜそれが該当するのか、そしてその言い換え表現を2種類以上、考えておくこと。(90分)	不適切とされる表現について、日本語と英語辞書の記述を確認しておくこと(90分)
担当教員			
第9回	日本の言語景観Ⅰ 学生が収集した言語景観を発表する。 それらの日本語表現から日本社会の変化や日本語文化を分析していく。	各自の言語景観のプレゼン準備(スライド作成含む)をしておく(90分)	公共施設における掲示文や説明文の書き換えをしておく(90分)
担当教員			
第10回	日本の言語景観Ⅱ 学生は商品や商品説明に記された「問題な」日本語文をプレゼンする。 そこから、日本語のレトリックを分析していく。	自の言語景観のプレゼン準備をしておくこと(90分)	日本語のレトリックを雑誌委等から5つ収集しておくこと(90分)
担当教員			

第11回	外国語としての日本語 外国語としての視点で日本語を眺め、日本語の比喻表現やレトリックを確認し、英語比喻と比べてものごとの「見立て」方の違いと共通点を考える。	外国人が日本語を学ぶうえで難しいことはどのような学習項目か具体的に調べておくこと(90分)	公的機関の情報を「やさしい日本語」と「平易な日本語」で書き換えておくこと(90分)
担当教員			
第12回	日本語会話の特徴 共和型コミュニケーションと対話型コミュニケーションを比較し、会話のスタイル分析の演習をする。	察しや場を読むといった高コンテキスト文化とはどのような情報共有かを説明できるようにしておく(90分)	市役所の広報誌に掲載されている「お知らせ」を読み、子供や高齢者が一読で理解できる文に訂正しておく(90分)
担当教員			
第13回	日本の絶滅危機言語 アイヌ語	日本語の中のアイヌ語またはアイヌ語をルーツする借用語を30以上記しておく。(90分)	アイヌ語で簡単な挨拶や感情表現ができるようにしておく。(90分)
担当教員			
第14回	ポライトネスとは 日本語コミュニケーションにおける敬語、敬意表現と丁寧さを考える	敬語体系を書籍やサイトで復習しておくこと。(90分)	タスクシートを完成しておく。(90分)
担当教員			
第15回	確認テストと復習	復習しておくこと。(120分)	確認テストの誤答を訂正し、補足説明を記しておくこと。(60分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	課題発表40%、授業参加度30%、確認テスト30%。	

その他	0	
教科書		
講義プリントを配布する。		
参考文献		
文化庁『国語に関する世論調査』各年、岡本佐智子『日本語教育能力試験に合格するための社会言語学10』2008、アルク。ほか、授業で適宜紹介する。		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		国際関係論Ⅱ				ナンバリング	3613
配当年次	2年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	吉田 勉幸						
授業の位置づけ							
ディプロマ・ポリシー北海道、日本及び世界諸地域の課題に対応できる情報処理や分析の能力、論理的・批判的な思考 や判断をする能力を身につけている。(思考・判断・表現)と特に関連の深い科目である。							
授業の概要							
この授業は、世界の多様性と共生・協働を理解するために、国際協力や開発援助と呼ばれている分野を中心に、そこで活動する国家、国際機関、NGO、企業などの役割や相互関係を学習する。国際協力をより立体的に理解するために、(1)背景としての貧困や紛争などの南北格差の現実(2)開発の手段としての政府ODAや国連のイニシアチブ(3)NGOのネットワークによるボランティア活動の展開、の3点を軸に国際協力のアクターと活動がもつ可能性と限界を、理論と事例の双方から包括的に検討する。また、多様な地域の現場の問題や活動などをとりあげ、日本のNGOや国内ボランティアも取り上げる。							
到達目標							
この授業では、以下に掲げる項目への行動変革を目標とする。 ・開発途上国が抱える基本的な課題を理解、分析し、論理的に説明することができる。 ・国際社会の一員として、グローバルイシュー(貧困、環境破壊等)の議論に参加できる。 ・将来における自身のキャリア形成において、「社会貢献」「国際協力」「開発援助」の要素を高め、何らかの行動ができる。(例 SNSでの支援の呼びかけや、国際機関の職員や国際ボランティア「JICAボランティア」を目指す等)							
授業の方法							
授業で取り上げるテーマについて事前に調べ、予習すること。授業後、授業の内容を整理し、自分の考えも交えて内容をまとめる。授業内容を理解できたのか、授業後レポートの作成を求め、評価する。条件が整えば、JICA北海道(札幌)が実施するプログラムの参加や、その施設利用も検討している。							
ICT活用							
PC、タブレット等を使用し、スライド、動画を多く使用する。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし。			
課題に対するフィードバックの方法			
授業内容の理解を確認するために、授業中にミニレポートの作成を求めることがある。各種レポート課題を評価し、コメントを行う。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	開発援助の魅力 ～「行けば分かる。行けば変わる」～ 開発援助に関わる人々を概説し、その魅力に迫る。なぜ海外なのか？なぜ援助なのか？も交えてプレゼンテーションする。 初回では、授業計画を調整するため、出席者の意見、考えを積極的に求める。	なぜ、この授業に出席するのか？その目的意識を明確するため、事前に課題・問題を整理すること。また可能であれば、自分の将来のキャリア形成におけるこの授業の位置づけを明確にする。(120分)	提示資料、配布資料、授業内容を整理し、自分の意見・考えを書き下すこと。(60分)
担当教員			
第2回	開発援助の概要とSDGs 開発途上国やグローバル・サウスを理解した上で、開発援助の基礎を解説する。 現在の潮流「SDGs」も交えて、適切な援助について学ぶ。	事前にレポート課題があれば作成し、テーマに沿った内容の資料を自分なりに探し、整理する。(120分)	提示資料、配布資料、授業内容を整理し、自分の意見・考えを書き下すこと。(60分)
担当教員			
第3回	国際機関・政府の国際支援 世界銀行、国連等の国際機関を取り上げ、そのあり方、取り組みについて理解する。	事前にレポート課題があれば作成し、テーマに沿った内容の資料を自分なりに探し、整理する。(120分)	提示資料、配布資料、授業内容を整理し、自分の意見・考えを書き下すこと。(60分)
担当教員			
第4回	JICAの概要と取り組み 独立行政法人国際協力機構(JICA)の概要を紹介し、その取り組みについて学ぶ。 可能であれば、JICAからゲストスピーカーを招待する。	事前にレポート課題があれば作成し、テーマに沿った内容の資料を自分なりに探し、整理する。(120分)	提示資料、配布資料、授業内容を整理し、自分の意見・考えを書き下すこと。(60分)
担当教員			

第5回	NPO/NGOの意義と活動 国際的なNGOや日本国内のNPO/NGO等の活動を取り上げ、幾つかのNGOの存在と活動について学ぶ。	事前にレポート課題があれば作成し、テーマに沿った内容の資料を自分なりに探し、整理する。(120分)	提示資料、配布資料、授業内容を整理し、自分の意見・考えを書き下すこと。(60分)
担当教員			
第6回	プライベートセクターにおける社会貢献活動 北海道内の企業を含む、民間企業等の国際支援について学ぶ。	事前にレポート課題があれば作成し、テーマに沿った内容の資料を自分なりに探し、整理する。(120分)	提示資料、配布資料、授業内容を整理し、自分の意見・考えを書き下すこと。(60分)
担当教員			
第7回	環境問題 ～人類の発展と自然環境の保全とは両立できるのであるか？～ 二酸化炭素の増加やゴミ問題、水質汚染、生物多様性の減少等、私たちは多くの問題に直面している。この授業では自然環境の破壊及び自然災害に苦しむ人々について理解する。	事前にレポート課題があれば作成し、テーマに沿った内容の資料を自分なりに探し、整理する。(120分)	提示資料、配布資料、授業内容を整理し、自分の意見・考えを書き下すこと。(60分)
担当教員			
第8回	発途上国の病気と医療事情 医療資源の乏しい開発途上国では、日々多くの人々が病に倒れる。日本では耳慣れない感染症や風土病等、開発途上国における特有の病気について学ぶ。	事前にレポート課題があれば作成し、テーマに沿った内容の資料を自分なりに探し、整理する。(120分)	提示資料、配布資料、授業内容を整理し、自分の意見・考えを書き下すこと。(60分)
担当教員			
第9回	貧困問題と先進国からの技術移転 世界中に存在する経済格差、所得格差について鳥瞰し、先進国とは何か？開発途上国とは何か？改めて問い直す。また、幾つかの事例を概説する。	事前にレポート課題があれば作成し、テーマに沿った内容の資料を自分なりに探し、整理する。(120分)	提示資料、配布資料、授業内容を整理し、自分の意見・考えを書き下すこと。(60分)
担当教員			
第10回	ボランティア ～ボランティア体験から得られるベネフィットとは何か？～ 海外におけるボランティア活動や東日本大震災でのボランティア活動など、各種ボランティア活動を「仕事」と対比した上で理解する。	事前にレポート課題があれば作成し、テーマに沿った内容の資料を自分なりに探し、整理する。(120分)	提示資料、配布資料、授業内容を整理し、自分の意見・考えを書き下すこと。(60分)
担当教員			

第11回	あなたが、開発途上国に行くとしたら？ ～資料収集と安全管理～ アフリカ諸国を始めとする開発途上国は、住み慣れた先進国と環境が大きく異なる。 この授業は、事前の情報収集と渡航準備について学ぶ。	事前にレポート課題があれば作成し、テーマに沿った内容の資料を自分なりに探し、整理する。(120分)	提示資料、配布資料、授業内容を整理し、自分の意見・考えを書き下すこと。(60分)
担当教員			
第12回	途上国支援におけるマーケティング戦略とフェアトレード支援を行う組織では、活動の維持と充実を図るための様々なファウンディングが欠かせない。幾つかの組織におけるマーケティング戦略・コミュニケーション戦略と、「フェアトレード」について学ぶ。	事前にレポート課題があれば作成し、テーマに沿った内容の資料を自分なりに探し、整理する。(120分)	提示資料、配布資料、授業内容を整理し、自分の意見・考えを書き下すこと。(60分)
担当教員			
第13回	IT技術の躍進 デジタル端末の急速な進化と、SNSの拡大によって、開発途上国の社会と、それを支える援助は、大きく変化している。この授業では、幾つか事例を挙げ概説し、IT技術との関係を学ぶ。	事前にレポート課題があれば作成し、テーマに沿った内容の資料を自分なりに探し、整理する。(120分)	提示資料、配布資料、授業内容を整理し、自分の意見・考えを書き下すこと。(60分)
担当教員			
第14回	身近な開発援助 ～「あなたに出来ることは、必ずある」～ これまで学んできた内容をまとめ、自分なりの「身近な開発援助」について、学生達が自由に意見を述べる授業とする。	これまでの授業内容をまとめ、最終レポートに備える。(120分)	まとめた内容を吟味し、再考する。(60分)
担当教員			
第15回	開発援助と未来 これまで学んできた内容をまとめ、自分なりの「開発援助の未来」について、学生達が自由に意見を述べる授業とする。また、今後のキャリアプランについて意見交換する。	最終レポートの作成(60分)	最終レポートの内容を見直し、最終レポートを完成させる。(120分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	行わない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	90	課題提出状況・ミニレポートテスト	

その他	10	授業参加の積極性
教科書		
新聞等		
参考文献		
大学生のためのレポート・論文術/小笠原 喜康/ 講談社 その他、授業中に適宜提示する。		
履修条件・留意事項等		
日々、新聞を読むことが望ましい。 レポート課題における「盗用」は厳しくチェックする。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		国際関係論Ⅳ				ナンバリング	3713
配当年次	3年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	渡部 淳						
授業の位置づけ							
国際関係論Ⅳは、近年、国際政治経済論と呼ばれる分野を扱う。 本科目は、「問題解決のために必要な情報を収集分析し、適切な判断を主体的に下すことができる。(思考・判断・表現)」及び「英語を実践的に運用できる知識とスキルを身につけている。(知識・技能)」に関連する科目である。							
授業の概要							
近代国際関係システムの形成史を詳述しながら、国民国家、ナショナリズムといった思想史的テーマの背景を学ぶことからスタートし、国際関係理論の枠組みを再確認した上で、具体的な国際政治の課題である通商政策、国際金融に加え、経済安全保障についても取り上げる。							
到達目標							
学生は、国際関係理論が構築されてきた背景の歴史を学び、これまで学んだ国際関係論の理論的枠組みを復習するとともに、いくつかの理論につき原著論文等に接することで理解を深め、国際政治現象を自ら分析し理解することができるようになることを到達目標とする。							
授業の方法							
PowerPointを用いた講義形式で行う。							
ICT活用							
インターネット上の資料や映像を適宜参照するとともに、Google Classroomを用いた双方向的コミュニケーションを保つ。							
実務経験のある教員の教育内容							

通商産業省(現・経済産業省)職員として、国連ベースでの条約交渉、WTOにおける通商交渉、OECDにおける先進国間の政策調整の経験を踏まえた講義を行う。

課題に対するフィードバックの方法

講義期間中に課す小課題への講評及び期末課題への評価と講評を行うとともに、Google Classroomを通じ適宜補充する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	1.Introduction	シラバスを読み、自らの関心を明確にしておくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第2回	2.近代国際システムの形成 (1) 国民国家の形成とWestphalia体制の成立 (2) 民主主義とナショナリズム	指定された文献を読んでくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第3回	2.近代国際システムの形成 (3) 二つの世界大戦 (4) 第三世界の形成と新国際経済秩序	指定された文献を読んでくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第4回	2.近代国際システムの形成 (5) 言語とナショナリズム (6) インターネットと言語帝国主義	指定された文献を読んでくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			

第5回	3.国際政治理論の3潮流 (1) 古典的リアリズム (2) リベラリズム	指定された文献を読んでくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第6回	3.国際政治理論の3潮流 (3) リアリズムの逆襲 (4) Post Modern Theories	指定された文献を読んでくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第7回	4.貿易 (1) 貿易理論の復習 (2) 貿易政策	指定された文献を読んでくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第8回	4.貿易 (3) 貿易と主権国家 (4) 貿易と世界大戦	指定された文献を読んでくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第9回	4.貿易 (5) 二度の世界大戦と保護貿易 (6) 戦後の自由貿易体制の成立	指定された文献を読んでくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第10回	4.貿易 (7) GATT体制の揺らぎとウルグアイ・ラウンド (8) WTO (9) 地域経済統合	指定された文献を読んでくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			

第11回	5.国際金融 (1) 中世欧州世界における国際金融と大航海時代 (2) Pax Britanicaと金本位制	指定された文献を読んでくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第12回	5.国際金融 (3) 恐慌とPax Americana (4) Bretton Woods体制	指定された文献を読んでくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第13回	5.国際金融 (5) TriffinのTrilemmaとNixon Shock (6) 管理通貨制と政策協調	指定された文献を読んでくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第14回	6.経済安全保障 (1) Globalizationの光と影 (2) 安全保障貿易 (3) 経済制裁 (4) 経済安全保障	指定された文献を読んでくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第15回	7.まとめ	指定された文献を読んでくこと(90分)	指定された文献を読んでくこと(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行なわない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	講義参加への積極性30%、小課題の提出状況30%、期末課題40%	

その他	0	
教科書		
野林健・大芝亮・納家政嗣・山田敦・長尾悟『国際政治経済学・入門』有斐閣アルマ		
参考文献		
飯田敬輔『国際政治経済』東京大学出版会 河野勝・竹中治堅編『アクセス 国際政治経済論』日本経済評論社 Phillip Coggan, Paper Promises, (『紙の約束』) 日本経済新聞出版社 2012 なお、高校世界史Bの教科書は必須である。大航海時代以降の欧州史を知らなければ国際経済の分析的理解など全く無理であることを理解してほしい。		
履修条件・留意事項等		
特に履修条件とはしていないが、経済学の基礎は講義内容の理解に必要であるので、適宜紹介するものを参照して自ら補ってほしい。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		国際関係論Ⅴ				ナンバリング	4812
配当年次	4年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	宮本 融						
授業の位置づけ							
本科目は、ディプロマポリシー「北海道、日本及び世界諸地域の課題に対応できる情報処理や分析の能力、論理的・批判的な思考や判断をする能力を身につけている(思考・判断・表現)」及び「グローバル化社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や共感力を備えている(関心・意欲・態度)」等に関連する科目である。							
授業の概要							
この授業では、深刻化する全世界共通の問題である、気候変動による温暖化、海面上昇、砂漠化などの地球環境の諸問題についてその概略を理解することを目的とする科目である。地球環境問題では、世界共通のものと、各国、各地域で深刻度が異なる多様な問題が存在しており、それらが私たちの日常生活とどのように結びつき、どのような影響を及ぼしているかを理解することを目指す。また、環境問題の解決や改善にどのような取り組みがなされ、人々が参画しているのかについても学ぶ。							
到達目標							
自ら設定した制作分野において、必要な理論的枠組みを取り出して、問題の構造を分析し、現状変更の政策提言をまとめられる能力を身につけることを目標とする。							
授業の方法							
PowerPointを用いた講義形式で行うが、必要に応じGoogle Classroomを用いて情報のコミュニケーションを行う。							
ICT活用							
条約事務局のサイトなどインターネット上の資料を適宜参照するとともに、Google Classroomによる補完的情報提供を行う。							
実務経験のある教員の教育内容							

通商産業省(現・経済産業省)職員として、条約交渉等の外交交渉の現場や国内における法令の作成や国会審議、あるいは政府部内における政策形成過程を踏まえた実践的事例を盛り込む。

課題に対するフィードバックの方法

講義期間中に小課題を課し、それに対する講評を行うとともに、適宜Google Classroomを用いた情報提供とフィードバックを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	1. Introduction 講義のアウトライン	シラバスを読み、自らの関心を明確にしておくこと(90分)	配布プリントと講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第2回	2. 気候変動問題 (1) 科学	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	配布プリントや参考文献を読了し講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第3回	2. 気候変動問題 (2) エネルギー	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	配布プリントや参考文献を読了し講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第4回	2. 気候変動問題 (3) 政治過程	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	配布プリントや参考文献を読了し講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			

第5回	3. 「前史」としてのオゾン層保護問題 (1) 科学と政治	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	配布プリントや参考文献を読了し講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第6回	3. 「前史」としてのオゾン層保護問題 (2) 市民と政治	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	配布プリントや参考文献を読了し講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第7回	4. 地球環境問題を発見するアメリカの政治過程	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	配布プリントや参考文献を読了し講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第8回	5. 国際政治における認識論と社会構築主義 (1) 非国家アクター (2) 国際政治理論の現代的展開	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	配布プリントや参考文献を読了し講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第9回	6. その他の地球環境問題 (1) 漁業資源の保護と捕鯨 (2) 生態系の破壊と種の保存	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	配布プリントや参考文献を読了し講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第10回	6. その他の地球環境問題 (3) 森林破壊と地域政治 (4) 海洋汚染と汚染物質の貿易規制	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	配布プリントや参考文献を読了し講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			

第11回	6. その他の地球環境問題 (5)長期残留性有機化学物質の規制とEU	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	配布プリントや参考文献を読了し講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第12回	7. 技術と政治	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	配布プリントや参考文献を読了し講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第13回	8. 国際組織とNGO	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	配布プリントや参考文献を読了し講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第14回	9. 地球環境問題における国内政治	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	配布プリントや参考文献を読了し講義の内容をノート等で復習すること(90分)
担当教員			
第15回	10. まとめ	指定された参考文献を読んでおくこと(90分)	期末課題を作成すること(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行わない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	講義への参加の積極性40%、小課題20%、期末課題40%	

その他	0	
教科書		
特に指定しない。		
参考文献		
講義の中で適宜紹介していく。 米本昌平『地球環境問題とは何か』岩波新書 1994 Pamela Chasek, David Downie, Janel Welsh Brown, Global Environmental Politics, 5th ed. Routledge, 2020		
履修条件・留意事項等		
本講座では、地球環境問題を取り上げるが、科学的側面についての理解は前提であり、国際政治過程について扱う。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		日本語コミュニケーション技法				ナンバリング	2304/2360
配当年次	2年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	小西 正人						
授業の位置づけ							
この科目は目指す産業界が求める技能に習熟し、実践の場で活用することができ、またグローバル社会の人々との信頼関係を構築し、異文化社会に対する正しい理解と協調の精神を持つことができるようにするための科目である。1年生科目「日本語表現技法Ⅰ・Ⅱ」の発展科目である。							
授業の概要							
この授業は、情報端末を介した交流が日常的になった現代、さまざまなコミュニケーションのチャンネルが広がっているが、人と対面して「話す」ことがコミュニケーションの基本であることの重要性が再確認されている。この授業では、信頼関係を築くための非言語メッセージはもとより、良質の「スピーチ」を客観的に観察することなどを通じ、「きく」ための技術やアサーティブなコミュニケーション技術を身に付けていく。授業では、目的に合わせて自分をどうアピールしていくのか、自己PR動画や就活面接用ウェブ動画の制作と振り返りで、目的に合ったパフォーマンスができるようになることを目指す。							
到達目標							
1. 4つの「きく」姿勢を意識して、相手の話の意図を探ることができる。 2. 話の内容を簡潔にわかりやすく伝える手法を使おうと努力する姿勢が身につく。 3. 対人コミュニケーションにおける第一印象や態度として、スマイルが意識的に表出できる。 4. 目的や相手、場に合わせた話し方ができる。 5. 自己のコミュニケーション行動の問題点をモニターできる。							
授業の方法							
プレゼンテーションやスピーチについて、毎授業時での少人数ごとのグループ活動を通じて互いに気づき・修正しあい・フィードバックにつながる形で大きな発表形式にもっていく。							
ICT活用							
Google classroomを通じた課題提出のほか、パワーポイントその他を用いたプレゼンテーションを行う。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
自己評価や振り返りを含めた各課題はコメントを記して個別返却し、優秀な課題には、その学ぶべきところを全体の講評で紹介し共有していく。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション ・「伝える」ことについて、「話しかた」「構成」「内容」	事前にシラバスを読んでおく(30分)	次回の「自己紹介」について、話す内容を整理しておく(150分)
担当教員			
第2回	自己紹介(グループ活動) ・いろんな人に自己紹介をしてみる。 ・いい「自己紹介」を考える。	事前に自己紹介の内容を考えておく(30分)	いい「自己紹介」について考え、次回への糧とする。(150分)
担当教員			
第3回	伝えるためには「目を見て話す」(グループ学習) ・目を見て話す練習をする。 ・目線を配る練習をする。	今回のテーマについて、他の人の話している姿を観察しておく(30分)	課題となるスピーチ動画を視聴し、今回のテーマで気づいたことを確認するとともに、自分でも練習しておく(150分)
担当教員			
第4回	「聞く練習」と「話す形」(グループ活動) ・引き続き「目を見て話す」「目線を配る」練習 ・表情に気をつけてみよう ・傾いて聞く練習、および話し手の気持ち ・好きなもののことを考えて言葉にする練習	前回学んだことを思い出して確認しておく(30分)	課題となるスピーチ動画を視聴し、今回のテーマで気づいたことを確認するとともに、自分でも練習しておく(150分)
担当教員			

第5回	朗読とスピーチ・プレゼンテーションの違いについて(グループ活動) ・両者に決定的な違いがあることを体験する ・「調べ発表」風の節末上げ・文末上げを知り、撲滅に動く。	前回学んだことを思い出して確認しておく(30分)	課題となるスピーチ動画を視聴し、今回のテーマで気づいたことを確認するとともに、自分でも練習しておく(150分)
担当教員			
第6回	「好きなこと」発表練習(グループ活動) ・自分の「好きなこと」についてよく考え、売り込むにはどうすれば良いか見つけ出す。 ・好きなもののことについて発表リハーサル・ピアレビュー	今回のテーマ(「好きなこと」)について、話す内容をある程度考えておく。(30分)	今回のグループ活動を通じて気づいたこと・指摘を受けたことについて、しっかりと受け止めて発表の準備をする。(150分)
担当教員			
第7回	人前に立ってみよう ・「演説」を視聴し、観察・分析する。 ・人前に立って話してみる。	「演説」について考えておく(30分)	次回の発表についてしっかりと準備をする。(150分)
担当教員			
第8回	「好きなこと」発表(前半) ・好きなことについて発表する。 ・自分の発表を見ながら自己解説。	発表の準備(150分)	発表の反省、あるいは準備(150分)
担当教員			
第9回	「好きなこと」発表(後半) ・好きなことについて発表する。 ・自分の発表を見ながら自己解説。	発表の準備(150分)	発表の反省(150分)
担当教員			
第10回	最近流行りの「自己ブランディング」について。 ・自分のいいところ、売り込めるところは？ ・グループでお互いのいいところを提案し合う。	自己ブランディングについて調べておく(90分)	自己ブランディングについて調べる(90分)
担当教員			

第11回	「自己紹介・自己アピール」 ・状況を設定し(就職面接など)、売り込みポイントを探る。 ・自己紹介・自己アピールを構成する。	新しい「自己紹介」のことを考える(30分)	新しい「自己紹介」準備(150分)
担当教員			
第12回	「自己紹介・自己アピール」 ・グループに分かれてお互いに「自己紹介」および解説。	新しい「自己紹介」準備(150分)	今回学んだ内容を加味しつつ新しい「自己紹介」を準備(150分)
担当教員			
第13回	「自己紹介・自己アピール」発表(前半) ・前回までにつくりあげた「自己紹介・自己アピール」発表。	発表の準備(150分)	発表の反省、あるいは準備(150分)
担当教員			
第14回	「自己紹介・自己アピール」発表(後半) ・前回までにつくりあげた「自己紹介・自己アピール」発表。	発表の準備(150分)	発表の反省(150分)
担当教員			
第15回	発表(予備時間)、および総まとめ。	これまでの授業で学んだことを振り返る(60分)	これまでの授業で学んだことを振り返る(120分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しません。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業内発表(2回)、小課題、授業参加度などの総合評価。	

その他	0	
教科書		
使用しません。		
参考文献		
『自分をどう表現するか パフォーマンス学入門』／佐藤愛子／講談社現代新書 ほか、書籍やサイトなどを授業で適宜紹介する。		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		日本語表現技法 I				ナンバリング	1301/2264
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	演習	単位	1
担当教員		矢部 玲子					
授業の位置づけ							
「話すことによって伝える」コミュニケーション能力を学修するための科目である。 ディプロマ・ポリシーの「目指す産業界が求める技能に習熟し、実践の場で活用することができる(知識・技能)」ことと特に関係がある科目である。 また「4技能(聴く、話す、読む、書く)の運用能力を高め、実践の場で活用することができる(知識・技能)」や、「グローバル社会の人々との信頼関係を構築し、異文化社会に対する正しい理解と協調の精神を持つことができる(関心・意欲・態度)」こととも関係する。							
授業の概要							
この授業は、効果的なプレゼンテーションの方法を演習を中心に学ぶ。「話したいこと」だけを話す自分勝手に伝わらないプレゼンテーションを排し、聞く人が聞いてよかった・楽しかったと思えるような(そしてそれゆえにしっかりと内容が伝わるような)win-winのプレゼンテーションの考え方の基礎を完全に固め、実践的運用が可能となるレベルを到達目標とする。そのため授業は「構想・計画→入念な準備→実演→自己反省・相互批評」のループを通じて着実に技術を修得することのできるよう展開される。							
到達目標							
・聴衆を前に自分の主張を何も見ずに伝えることが出来る。 ・正しい服装・態度、豊かな声量・表情で聴衆に訴えることが出来る。 ・グループワーク(ディベート・グループプレゼンテーション)に積極的に取り組み、協働・協調的行動を取ることが出来る。 ・パワーポイントを駆使して聴衆に自分の主張を訴え、共感を引き出すことが出来る。 ・大衆の共感を得られる内容の動画などをグループで作成し、SNS上に公開することができる。							
授業の方法							
・板書、視聴覚メディア、ICT、印刷物を使用して講義形式で説明を行う。 ・説明に基づき、個人で発表(スピーチ・パワーポイント)の準備を行い、発表する。 ・説明に基づき、グループで討論(ディベート)の準備を行い、討論・審判を行う。 ・説明に基づき、グループで大衆の共感を得られる内容の動画などを作成し、SNS上に公開する ・発表・討論の相互評価と自己評価を行う。評価結果は個人・グループにフィードバックする。							
ICT活用							
・Web上でのアプリケーション(アンケートフォームを用いたプレゼンテーション相互評価の入力・送信・閲覧によるフィードバックに基づく自己評価入力・送信)を用いた双方向授業を取り入れる。 ・プレゼンテーションのスライド作成や発表によるPCやプロジェクターの操作を用いた双方向授業を取り入れ、ICT技術の修得を促す。 ・SNS投稿などを通じて、ネット上における配慮事項の修得を促す。							
実務経験のある教員の教育内容							

公立中学校・高等学校の国語科教師としての勤務経験が約10年あり、国語科教育の「話す・聞く」指導に幅広い知識と経験を有する。左記を活かして指導を行う。

課題に対するフィードバックの方法

プレゼンテーション・ディベートに対する相互評価・自己評価のシェアリングによって履修の成果と課題・解決方法を可視化する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション コミュニケーション能力の大切さを認識する。 教材提示(配信)、授業の進め方を説明する。 社会で高評価を得ているプレゼンテーションや日本の伝統話芸を鑑賞して自身の今後に資する。 上記の学修内容を確認しておく。(90分)	上記の学修内容を事前に確認しておく。(90分)	配信教材を印刷し一読する。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第2回	スピーチ(自己紹介) 配信教材等に基づいて説明する。説明の後、各自原稿作成や口頭発表の準備を行う。	配信教材等を参考にして原稿作成や服装・姿勢・声量・声調等発表準備をしておく。(90分)	上記の学修内容を確認する。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第3回	スピーチ(自己紹介)実演1 前回の準備に基づいて履修者の半数について行う。1人3分以内。 発表後、相互評価と自己評価を行う。	発表者は発表準備をして臨む。 観察者は適切な相互評価が行えるよう、評価方法を理解して臨む。(90分)	次回発表者は原稿作成や発表準備をしておく。発表終了者は相互評価を熟読し自らの課題を明確化する。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第4回	スピーチ(自己紹介)実演2 前回の準備に基づいて履修者の残り半数について行う。1人3分以内。発表後、相互評価と自己評価を行う。	発表者は発表準備をして臨む。 観察者は適切な相互評価が行えるよう、評価方法を理解して臨む。(90分)	発表終了者は相互評価を熟読し自らの課題を明確化する。(90分)
担当教員	矢部 玲子		

第5回	PPTを用いた発表1(私のオススメ) 上記について説明する。説明の後、各自発表項目決定、スライド作成や発表の準備を行う。(1人5分以内)発表後、相互評価と自己評価を行う。	PPTの操作方法を確認しておく 他人にその素晴らしさを一番知ってほしい物(事・場所・人)について考えておく。(90分)	PPTを用いた発表の準備を進める。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第6回	PPTを用いた発表2(私のオススメ) 前回の準備に基づいて履修者の1/3について行う。1人5分以内。発表後、相互評価と自己評価を行う。	自身の「お勧め」を明確化しておく。(90分)	スライド作成などの準備を進める。次回発表者は準備を完了させる。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第7回	PPTを用いた発表3(私のオススメ) 前回の準備に基づいて履修者の1/3について行う。1人5分以内。発表後、相互評価と自己評価を行う。	発表者は発表準備をして臨む。観察者は適切な相互評価が行えるよう、評価方法を理解して臨む。(90分)	次回発表者は発表準備を完了させる。発表終了者は相互評価を熟読し自らの課題を明確化する。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第8回	PPTを用いた発表4(私のオススメ) 前回の準備に基づいて履修者の残り半数について行う。1人5分以内。発表後、相互評価と自己評価を行う。	発表者は発表準備をして臨む。観察者は適切な相互評価が行えるよう、評価方法を理解して臨む。(90分)	発表終了者は相互評価を熟読し自らの課題を明確化する。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第9回	「ミニ・ディベートの実践」(1) 「ディベートの方法」に関する発表を振り返り、履修者全員でディベートに取り組む。 ・論題を決定する。 ・肯定側・否定側・審判・聴衆に分かれる。 ・各役割の確認を行う。 ・論題に基づき、立論・反駁を計画立案する。	配信教材等を熟読し、ディベートについて理解しておく。(90分)	自身が分担した役割が果たせるよう準備しておく。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第10回	「ミニ・ディベートの実践」(2) 前回分担した役割に沿って実際にディベートを行い、審判する。聴衆役は、肯定側・否定側・審判のうち、どの役割が一番優れているか審判する。	授業で示したテーマについて意見文を作成する(90分)	次週の課題発表の準備(90分)
担当教員	矢部 玲子		

第11回	グループプレゼンテーション1(観光プラン提案・恵庭発着道内日帰り) 上記の内容でグループプレゼンテーションを準備する。具体的には履修者間でグループを組み、各自担当とテーマを決定し、発表・投稿等の準備に取り組む。	教材の該当記述を確認する等して、各自の役割を十分に果たせるよう準備の上授業に臨む。(90分)	グループで決定した内容と役割が順調に実施できるよう準備する。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第12回	グループプレゼンテーション2(観光プラン提案・恵庭発着道内日帰り) グループで協力して発表する。(1グループ5分以内。発表後、相互評価と自己評価を行う。)	教材の該当記述を確認する等して、各自の役割を十分に果たせるよう準備の上授業に臨む。(90分)	自己評価・相互評価を通して今回自分の果たした役割を総括する。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第13回	グループプレゼンテーション3(観光プラン提案・恵庭発着道内日帰り) グループで協力して発表する。(1グループ5分以内。発表後、相互評価と自己評価を行う。)	発表者は発表準備をして臨む。観察者は適切な相互評価が行えるよう、評価方法を理解して臨む。(90分)	次回発表者は発表準備を完了させる。発表終了者は相互評価を熟読し自らの課題を明確化する。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第14回	グループプレゼンテーション4(観光プラン提案・恵庭発着道内日帰り) グループで協力して発表する。(1グループ5分以内。発表後、相互評価と自己評価を行う。)	発表者は発表準備をして臨む。観察者は適切な相互評価が行えるよう、評価方法を理解して臨む。(90分)	発表終了者は相互評価を熟読し自らの課題を明確化する。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第15回	グループプレゼンテーション5 全グループ発表済みの場合はプレゼンテーションのWeb上配信方法技術等講義する。	発表者は発表準備をして臨む。観察者は適切な相互評価が行えるよう、評価方法を理解して臨む。(90分)	発表終了者は相互評価を熟読し自らの課題を明確化する。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	スピーチ(20)、PPTやSNSを用いた発表(50)ディベート(30) 合計100点 出席率66%以上を評価対象とする。	

その他	0	なし
教科書		
使用しない。		
参考文献		
授業内で適宜指示する。		
履修条件・留意事項等		
実際に授業に参加して発表した内容を評価する。 状況に応じて授業計画を調整する場合がある。 必要に応じて教材配信システムを使用する。 発表日に欠席すると単位取得放棄とみなすことがある。 実際に授業に参加して発表した内容を評価する。 メールが届いたか、返信は必要か、等を常にチェックするように。 メールでの問合せ等には必要に応じて対応する。 メールでの言葉遣いには十分に注意すること。不適切な言葉を使用した場合は、減点の対象とし、度重なる場合は単位認定しない場合もある。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 選択必修A					
科目名		スピーチ I				ナンバリング	3530
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	Walzem Allen George						
授業の位置づけ							
この科目はディプロマポリシーの「学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力を身につけている」、「世界各地域の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけている」(思考・判断・表現)、「グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を備えている」(関心・意欲・態度)、「世界と繋がるために地域社会を理解し、その活性化に向けて発信できる国際感覚を身につけている」(関心・意欲・態度)」と関連している。また他の英語系のコミュニケーション科目と関連する。							
授業の概要							
この授業は、さまざまなトピックの課題を英語のみを用いて、他の学生や教員とのインタラクションを通して遂行できるようになること目標とする。授業では、流暢に、より正確な英語を用いてコミュニケーションを行うスキルを身に付けるだけではなく、言語能力の不足を補うために用いるコミュニケーションストラテジーに関わる指導も行う。							
到達目標							
Communicate more accurately in English around a variety of topical issues, using communication strategies to compensate for deficiencies in language skills when necessary.							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher’s instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pairwork, groupwork as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
If necessary, this class will utilize Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable.

課題に対するフィードバックの方法

The teacher will give feedback by explaining the answers of the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	ORIENTATION In this lesson, we will discuss the class procedures, assignments and assessments.	Register for the LMS; read the syllabus, peruse the textbook, generate questions (90 minutes).	Reflect on the orientation discussion, review notes, send a greeting message to the LMS. (90 minutes)
担当教員			
第2回	Unit 1: Connections In this lesson, we will talk about the people and things in your life, introduce yourself in person and through email, as well as talk about what you have in common.	Check the LMS, read Unit 2 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 1 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第3回	Unit 2: Work and study In this lesson, we will talk about your daily and weekly routines, discuss your workspace, write opinions about a podcast, and practice giving advice about useful apps for work and study.	read Unit 3 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 2 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第4回	Unit 3: Let's move In this lesson, we will talk about what you're doing at the moment, about sports and exercise, learn to ask for information, write short messages to a company and create a fitness program.	Read Unit 4 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 3 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			

第5回	Unit 4: Good times In this lesson, we will talk about your plans, learn about giving and receiving gifts, make and respond to invitations, write an online event announcement and choose gifts for your host.	Read Unit 5 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 4 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第6回	Unit 5: First and last In this lesson, we will talk about past events in your life, ask questions about the past, congratulate and sympathize with people, write comments agreeing or disagreeing with an online post and summarize a story.	Read Unit 6 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 5 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第7回	Unit 6: Buy now, pay later In this lesson, we will talk about your plans for a shopping trip, talk about shopping habits, describe what you want in a store, write a script for a vlog and present your idea for a new invention.	Prepare for exam. (90 minutes)	Review Units 1-6 and study for test (At least 90 minutes!)
担当教員			
第8回	Mid-course Review & Strategy Instruction MIDTERM TEST During this lesson, we will review our progress so far, as well as learn about strategies for preventing, identifying, and repairing communication difficulties.	Read Unit 7 and do the exercises. (90 minutes)	Review midterm and find correct answers to what you missed (90 minutes)
担当教員			
第9回	Unit 7: Eat, drink, be happy In this lesson, we will talk about your favorite comfort food, design a food truck, explain what you want in a restaurant, write a comment about an online article and plan a party.	Read Unit 8 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 7 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第10回	Unit 8: Trips In this lesson, we will talk about what to do in your town, talk about a trip you went on, give advice and make suggestions, write advice on living in another country and plan a short trip.	Read Unit 9 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 8 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			

第11回	Unit 9: Looking good In this lesson, we will compare stores and what they sell, talk about people in photos, ask for and give opinions, write a paragraph describing a photo as well as create and present an advertisement.	Read Unit 10 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 9 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第12回	Unit 10: Risky business In this lesson, we will talk about how to avoid danger at work, make predictions about your future, describe a medical problem, ask for help, write an email to your future self and plan a reality TV show.	Read Unit 11 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 10 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第13回	Unit 11: Me, online In this lesson, we will talk about talk about what you've done and what you've never done, talk about what you've done and when, make and respond to requests, write comments about an infographic and create a video or vlog.	Read Unit 12 and do the exercises. (90 minutes)	Review Unit 11 and the exercises. (90 minutes)
担当教員			
第14回	Unit 12: Outdoors In this lesson, we will talk about the weather, describe places, people and things, ask for and give directions, write simple instructions and create a tourism campaign for your country.	Prepare for final exam (90 minutes or more)	Reviewn units 7-12 (90 minutes)
担当教員			
第15回	Review & In-class Test During this lesson, we will review the learning in this class and take the in-class test.	Be sure to finish any work you have missed, check for makeup assignments	Sent all late work to the teacher
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Midterm evaluation 30% Final evaluation 40% Classwork, including participation and quizzes 30%	

その他	0	
教科書		
EVOLVE 2, Lindsay Clanfield, Ben Goldstein, Ceri Jones, and Phlip Kerr, Cambridge 2019		
参考文献		
Will be handed out in class. Keep them for study!!		
履修条件・留意事項等		
Not Applicable		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 選択必修A					
科目名		ディベート I				ナンバリング	3642
配当年次	2年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	Todd Robert Enslen						
授業の位置づけ							
英米語コースでは、英語を実践的に運用できる知識とスキルを身につけている。4技能(聴く、話す、読む、書く)の運用能力を高め、実践の場で活用することができる。							
授業の概要							
この授業は、国際言語学科の英語科目の総まとめになる授業と位置付けられる。ここまでは英語を用いたやり取りに焦点をあてた学習が主だったが、この授業では、日常場面やビジネスの場面などにおいて、音声を聴いてその内容の概要を発表したりなど口頭での複数の技能を組み合わせることが必要な言語活動を通して、より高度な英語能力の育成を図ることを目標とする。							
到達目標							
By the end of this course, the students will be able to (1) take part in English conversations and discussions with both their teacher and classmates; (2) use learned vocabulary and expressions to enhance their speaking and listening; (3) make well organized presentations about the topics discussed in class.							
授業の方法							
We will be using a textbook based on TED Talks, through which students will be exposed to new ideas and ways of making presentations. We will study the first five chapters of the book in the first semester. Each unit will include listening, speaking, critical thinking, pronunciation, note-taking, and presentation skills. All audio and video used in class are available online at https://eltngl.com/sites/21st-century-communication/student/book-2/							
ICT活用							
Google Classroom will only be used to send announcements or supplementary materials to the students. All assignments should be done on paper and turn in at the beginning of class.							
実務経験のある教員の教育内容							

N/A			
課題に対するフィードバックの方法			
Feedback will be given in each class regarding discussions and presentations. Any homework will be graded and return the following week.			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	Orientation to the class. Begin work on Unit 1 (Listening, Note-taking, Critical Thinking) Students will briefly review the syllabus and be given the schedule and rules related to the course. Begin Unit 1 by thinking about the topic, working in groups on the vocabulary, and completing the listening exercises. Students will listen for main ideas while using an outline to take notes. After listening, students will critical thinking skills to interpret an infographic and apply those ideas to responses.	Students should purchase the textbook from the school store and preview the book before coming to class. Read pages viii - ix. (90分)	Students will briefly review the vocabulary and listening from Unit 1. (90分) pages 2-10
担当教員			
第2回	Unit 1 Message on a Wall - Speaking, Pronunciation, Preparing to watch the TED Talk video. Students will learn key phrases for agreeing and disagreeing and use them to express their opinions on topics. In addition, they will practice using stress appropriately to improve communication. Finally, they will prepare to watch the video.	Students will do part "D Communicate" on page 6 for homework. They will write their a short conversation and share their answer in the next class. (90 分)	Students will review key vocabulary and pronunciation covered in pages 11-15 (90分)
担当教員			
第3回	Unit 1 - Message on a Wall - Watching the TED Talk video and preparing for discussion/presentation. They will watch the TED Talk video focusing on details, main ideas, and recognizing examples. Then, they will begin preparing for a short presentation on how communities can share their hopes, thoughts, and ideas.	Review the vocabulary and critical thinking skills from the chapter in preparation for watching the TED Talk video. Listen to the audio from class again. Students will do part "D Communicate" on page 15 for homework. They will write their a short conversation and share their answer in the next class. (90分)	Students will review the TED Talk video focusing on details, main ideas, and recognizing examples. (90分) pages 16 -21
担当教員			
第4回	Unit 1 Messages on a Wall - Short vocabulary Quiz, Presentation, Unit 2 Changing Climate, Changing Minds - Introduction, Vocabulary Students will take a vocabulary quiz, present and then begin thinking about the topic for Unit 2.	Review the video and further prepare presentation ideas. (90 分)	Students review the vocabulary for Unit 2. (90分) pages 22 - 26
担当教員			

第5回	Unit 2 – Changing Climate, Changing Minds – Listening, Speaking, Pronunciation Students will listen for main ideas and focus on understanding details. They will learn how to talk about cause and effect and discuss reduced vowel sounds. If time permits, we will prepare to watch the video.	Students will do part “C Communicate” on page 26 for homework. They will write their a short conversation and share their answer in the next class. (90 分)	Students will review the listening and cause and effect words. (90分) pages 26 – 34
担当教員			
第6回	Unit 2 Changing Climate, Changing Minds (Watch video, Prepare for group discussion/presentation) Review the homework. They will watch the TED Talk video focusing on note-taking skills. Then, they will begin preparing for a short presentation on environmental or social topic important to you.	Students will do part “D Communicate” on page 34 for homework. They will write their a short answers and share them in the next class. (90 分)	Students will review and further develop their presentations for the next class. (90分) pages 35 – 40
担当教員			
第7回	Unit 2 Changing Climate, Changing Minds (Presentation) Unit 3 Unexpected Discoveries (Introduction, Vocabulary, Listening) Students will take a vocabulary quiz, present and then begin thinking about the topic for Unit 3.	Review the video and further prepare presentation ideas. (90 分)	Students will review the vocabulary and listening from class. (90分) pages 42 – 47
担当教員			
第8回	Unit 3 - Unexpected Discoveries – Listening, Speaking, Pronunciation, preparing to watch the TED Talk video Students will listen for main ideas and details focusing on inferred meaning. They will also work on ways to check understanding through their speech. If time permits, students will also prepare to listen to the TED Talk video.	Students will do part “C Communicate” on page 46 for homework. They will write their a short conversation and share their answer in the next class. (90 分)	Students will will review the listening, speaking , and pronunciation sections of the book presented in class. (90分) pages 47 – 56
担当教員			
第9回	Unit 3 - Unexpected Discoveries – Watch TED Talk video and prepare for discussions/presentation Students will review the homework. They will watch the TED Talk video focusing on note-taking skills (making a time line). Then, they will begin preparing for a short presentation on environmental or social topic important to you	Students will do part “C Communicate” on page 56 for homework. They will write their a short conversations and share them in the next class. (90 分)	The students should watch the video again and further prepare for their presentations. (90分) pages 56 – 61
担当教員			
第10回	Unit 3 Changing Climate, Changing Minds – Presentation/Vocabulary Quiz Unit 4 The Business of Style – Introduction, Vocabulary, Listening Students will take a vocabulary quiz, present and then begin thinking about the topic for Unit 4.	Review the video and further prepare presentation ideas. (90 分)	Review vocabulary and listening that were discussed in class. (90分) pages 62 – 68
担当教員			

第11回	Unit 4 - The Business of Style – Listening, Speaking, Pronunciation, preparing to watch the TED Talk video Students will listen for main ideas and details focusing on inferred meaning. They will also work on ways to check understanding through their speech. If time permits, students will also prepare to listen to the TED Talk video.	Students will do part “D Communicate” on page 66 for homework. They will write their answers and share their answers in the next class. (90 分)	Students should review the listening speaking and pronunciation that was discussed in class. (90分) pages 67 – 76
担当教員			
第12回	Unit 4 - The Business of Style – Watch TED Talk video and prepare for discussions/presentation Review the homework. They will watch the TED Talk video focusing on watching for detail. Then, they will begin preparing for a short presentation on environmental or social topic important to you.	Do “E Communicate” on page 76. Write your answers on a piece of paper and be prepared to share them in groups at the beginning of class. (90分)	Students should review the chapter and prepare for their presentations. (90分) pages 76 – 81
担当教員			
第13回	Unit 4 The Business of Style – Presentation and Vocabulary Quiz Unit 5 Engineered by Nature – Introduction, Vocabulary Listening Students will take a vocabulary quiz, present and then begin thinking about the topic for Unit 4.	Review the video and further prepare presentation ideas. (90 分)	Students should review the key sections of Unit 5 presented in class. (90分) pages 82 – 88
担当教員			
第14回	Unit 5 - Engineered by Nature – Listening, Speaking, Pronunciation, preparing to watch the TED Talk video Students will listen for main ideas and references to key terms. In addition, they will understand how to use those key terms in taking notes. They will also work on using signal words and linking sounds. If time permits, students will also prepare to listen to the TED Talk video.	Students will do part “D Communicate” on page 86 for homework. They will write their answers and share their answers in the next class. (90 分)	Students should review the vocabulary, speaking tips, and pronunciation for all of the chapters covered for the final quiz the following week. (90分) pages 88 – 95
担当教員			
第15回	Unit 5 – Engineered by Nature – Watch the TED Talk video Take a final vocabulary quiz over units 1 – 5 The students will watch the TED Talk video and complete the exercises on page 95 – 98. They will then complete a comprehensive vocabulary quiz over units 1–5.	Write your answers to “D Communicate” on page 95. Be prepared to share your answers in groups when you come to class. (90分)	Even though the class is finished, students can continue their learning individually by doing units 6–8. (90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	30	Vocabulary Quizzes / Homework	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	4 Group Discussions/Presentations @ 10% = 40% Participation in class activities and discussions = 30%	

その他	0	
教科書		
21st Century Communication Book 2/ 2017 / Jessica Williams / National Geographic Learning – Cengage Learning.		
参考文献		
Students should always bring a bilingual dictionary to class.		
履修条件・留意事項等		
Only English will be used in class.		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 選択必修A					
科目名		映画で学ぶ英語 I				ナンバリング	3638
配当年次	2年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	釣 晴彦						
授業の位置づけ							
ディプロマポリシーの「学術目的の言語使用に主眼をおいた英語及び日本語の高度な運用能力を身につけている。(知識・技能)」、「世界各地の活性化につなげるための異文化コミュニケーション能力を身につけている。(思考・判断・表現)」等に関連する科目である。この講義は、初年次に学習したBasic oral communication等の科目を礎に、その後に学習する英語科目や国際・異文化コミュニケーション科目の基礎となる科目である。							
授業の概要							
この授業は、世界の多様な英語の学習を通して、グローバル化の進む世界の人々とのコミュニケーションをとるために必要な英語能力を見つめなおすことを1番の目的とする。授業では、それぞれの国で話される多様な英語を用いた学習で、英語の4技能の能力の向上を目指し、学生同士のディスカッションなどといった能動的な学習を中心とした授業を進める。							
到達目標							
世界の多様なアクセントで話された英語を理解することができるようになることを1番の目的とし、英語の4技能の能力の向上を様々な言語活動を通して目指す。							
授業の方法							
基本的には、板書及び、プレゼンテーションソフトや授業支援用のwebアプリ、ハンドアウトを活用して講義形式で進める。また、講義内で行われるさまざまな言語活動を通して、英語の4技能の能力の向上を目指す。各Unit終了後には小テストを行い、学習した語彙や表現の確認を行う。講義のまとめとして、与えられたテーマに応じた英語のプレゼンテーションを行う。							
ICT活用							
様々なWebアプリを用いた双方向授業を取り入れる。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
適宜、課題の形式に応じたフィードバックを講義やGoogle classroom等を通じて行う。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション グローバル社会の中で、世界の人々とのコミュニケーションをとるためにはどのような英語力が求められるか考える。	シラバスと教科書を事前に確認する。また、世界の人々とコミュニケーションをとるためにはどのような英語力が必要になるか事前に考えておく。(90分)	教科書のUnit 1を参照し、次の授業への準備を行う。(90分)
担当教員			
第2回	Unit 1 College Life Japan ① ・挨拶やお互いを知るための表現を、リスニング・スピーキングを通して学ぶ。 ・Three circles of Englishについて学ぶ。	教科書の該当箇所を読み、知らない語彙や表現について事前に調べる。Three circles of Englishについて自分で調べておく。(90分)	講義の内容の復習を行う。(90分)
担当教員			
第3回	Unit 1 College Life Japan ② ・大学生活に関するトピックのリスニング、リーディング、スピーキング活動を行う。	教科書の該当箇所を読み、知らない語彙や表現について事前に調べる。(90分)	講義の内容の復習を行う。(90分)
担当教員			
第4回	Unit 2 Mobile Phones England ① ・予定を決める際、電話の会話に使う表現を、リスニング・スピーキングを通して学ぶ。 ・世界の英語話者の割合について学ぶ。	小テストの準備をする。教科書の該当箇所を読み、知らない語彙や表現について事前に調べる。(90分)	講義の内容の復習を行う。(90分)
担当教員			

第5回	Unit 2 Mobile Phones England ② ・携帯電話に関するトピックのリスニング、リーディング、スピーキング活動を行う。 ・第4回で学んだ表現などを用いた発展的なスピーキング活動を行う。	教科書の該当箇所を読み、知らない語彙や表現について事前に調べる。(90分)	講義の内容の復習を行う。(90分)
担当教員			
第6回	Unit 3 Movies India ① ・招待に関する表現を、リスニング・スピーキングを通して学ぶ。	小テストの準備をする。教科書の該当箇所を読み、知らない語彙や表現について事前に調べる。(90分)	講義の内容の復習を行う。(90分)
担当教員			
第7回	Unit 3 Movies India ② ・映画に関するトピックのリスニング、リーディング、スピーキング活動を行う。	教科書の該当箇所を読み、知らない語彙や表現について事前に調べる。(90分)	講義の内容の復習を行う。(90分)
担当教員			
第8回	Unit 4 Dating Mexico ① ・誰かを描写する表現や語彙を、リスニング・スピーキングを通して学ぶ。	小テストの準備をする。教科書の該当箇所を読み、知らない語彙や表現について事前に調べる。(90分)	講義の内容の復習を行う。(90分)
担当教員			
第9回	Unit 4 Dating Mexico ② ・メキシコに関するトピックのリスニング、リーディング活動を行う。	教科書の該当箇所を読み、知らない語彙や表現について事前に調べる。(90分)	講義の内容の復習を行う。(90分)
担当教員			
第10回	Unit 5 International Food Korea ① ・リクエスト・レストランで用いる表現を、リスニング・スピーキングを通して学ぶ。	小テストの準備をする。教科書の該当箇所を読み、知らない語彙や表現について事前に調べる。(90分)	講義の内容の復習を行う。(90分)
担当教員			

第11回	Unit 5 International Food Korea ② ・海外の料理・レストランに関するトピックのリスニング、リーディング、スピーキング活動を行う。	教科書の該当箇所を読み、知らない語彙や表現について事前に調べる。(90分)	講義の内容の復習を行う。(90分)
担当教員			
第12回	Unit 6 World Englishes Singapore ① ・繰り返しや明確化要求に使う表現を、リスニング・スピーキングを通して学ぶ。	小テストの準備をする。教科書の該当箇所を読み、知らない語彙や表現について事前に調べる。(90分)	講義の内容の復習を行う。(90分)
担当教員			
第13回	Unit 6 World Englishes Singapore ② ・シンガポールに関するトピックのリスニング、リーディング、スピーキング活動を行う。	教科書の該当箇所を読み、知らない語彙や表現について事前に調べる。(90分)	講義の復習を行い、次の授業でのプレゼンテーションの準備を行う。(90分)
担当教員			
第14回	Oral Presentation ・1週目から13週目までに学習した内容を基に、与えられたテーマに応じた英語のプレゼンテーションを行う。	自分のプレゼンテーションの準備し、確認を行う。(90分)	これまでの講義内容を振り返りまとめの試験の準備をする。(90分)
担当教員			
第15回	講義のまとめ(授業内試験) ・Unit 1から6までの内容のまとめを行う。	まとめの試験の準備をする。(90分)	講義全体の振り返りを行う。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	小テスト・課題:40%、Oral presentation:20%、授業内試験:40%	

その他	0	特になし。
教科書		
塩澤正、Gregory A. King 著『Global Activator – Your English, My English, World Englishes!: 大学生のためのグローバル時代の英会話』金星堂		
参考文献		
講義中に紹介する。		
履修条件・留意事項等		
授業には真剣に取り組み、課題の締め切りは厳守すること。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 選択必修A					
科目名		時事問題・ディスカッション I				ナンバリング	3534
配当年次	1年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	Richardson Peter						
授業の位置づけ							
4技能(聴く、話す、読む、書く)の運用能力を高め、実践の場で活用することができる。(知識・技能)							
授業の概要							
この授業は、異文化接触とその適応を中心に学んでいく。受講者の興味関心がある国・地域、集団・組織等を想定し、その集団の宗教や信条、価値観、思考様式、規範などを調べ、そこで自分を失わずに適応していくには、どのような文化受容が求められるかを考えていく。異文化接触は外国に限らず、入学や転校、就職、結婚など人生の節目ごとに新たな集団文化への適応が求められる。適応には個人差があるものの、各人がマインドフルでレジリエントであるための方法を演習を通して学んでいく。							
到達目標							
The goal of the course is to introduce students to the notion of intercultural contact and to develop their abilities to understand and appreciate different ways of looking at the world.							
授業の方法							
Text analysis, lectures, and group discussions will be the main components of this course.							
ICT活用							
The class will make use of Google Classroom to provide access to course material.							
実務経験のある教員の教育内容							

none			
課題に対するフィードバックの方法			
Model answers to test questions will be given after the tests have been completed and feedback will be provided with a focus on questions the students found difficult.			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	Familiarize yourself with the course theme and goals and orientate yourself through a series of activities to the cultures of the target countries explored in these classes.	Read the syllabus and note down any questions you want to ask. 90分	Review the content of the syllabus and reflect on the themes and goals. 90 分
担当教員			
第2回	Explore the relationship between language and different cultures and the challenges this creates for using dictionaries and trying to guess the meaning of unfamiliar words and concepts in a foreign language.	Study the course content for week 2 and carefully check any words you don't understand. 90 分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第3回	Examine the notions of culture shock and reverse culture shock and the situations where these are likely to be experienced. Read and listen to accounts of culture shock in a range of different countries. Discuss strategies for managing and overcoming the negative aspects of these experiences.	Study the course content for week 3 and carefully check any words you don't understand. 90 分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第4回	Explore different styles and ways of greeting and communicating through speech, body language, touch, and positioning. Discuss key differences between Japanese, Thai, Turkish, and British styles.	Study the course content for week 4 and carefully check any words you don't understand. 90 分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			

第5回	Investigate the notion of face and the importance of appearances and how some Western cultures respond to these elements. Discuss the case of traditional British society where elements of face appear to coexist in tension with other ways of managing relationships and presenting yourself to others.	Study the course content for week 5 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第6回	Examine the connections and overlapping relationships between individualism, collective thinking, and national identity in different cultures with a particular focus on the United States, the United Kingdom, Japan, and Thailand.	Study the course content for week 6 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第7回	First part of the lesson: Student presentations related to topics covered so far in the course. Explore the importance of equality and hierarchy, formality and informality in different cultures and social contexts. Discuss why hierarchy and formality are so crucial in some cultures, such as Japan, while the principle of egalitarianism and the appearance of informality are so important in others, such as the United Kingdom and the United States.	Study the course content for week 7 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第8回	Review the first half of the course and complete the midterm test.	Prepare by studying the vocabulary and main topics from the first half of the course. 90分	Reflect on the test and try to identify your weaknesses and the gaps in your knowledge and how to address them.
担当教員			
第9回	Think about the difficult relationship between social harmony and critical thinking and examine different approaches to conflict and conflict resolution among different cultures. Discuss some case studies related to these aspects from various countries.	Study the course content for week 9 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第10回	Explore alternative approaches to education and language learning across different cultures and variations within a single culture in terms of the goal of studying, the relationship between education and morality, the role and status of the teacher, and how we should define a good or bad student and a good or bad lesson.	Study the course content for week 10 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			

第11回	Think about different traditional and progressive cultural dimensions within society and apply them to varying attitudes and approaches to work and leisure time. Compare Japanese attitudes to attitudes in some European countries.	Study the course content for week 11 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第12回	Continue to explore various traditional and progressive cultural dimensions within society by examining attitudes towards marriage and family and the cultural shift from being single to being married and possibly being divorced. Consider case studies from Japan, Thailand, Turkey, and the United Kingdom.	Study the course content for week 12 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第13回	Student presentations related to topics covered so far in the course.	Study the course content for week 13 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第14回	Student presentations related to topics covered so far in the course.	Study the course content for week 14 and carefully check any words you don't understand. 90分	Review the lesson content and vocabulary. 90分
担当教員			
第15回	Complete presentations and review the content of the course and reflect on the core concepts related to intercultural communication that you have explored.	Prepare by studying the vocabulary and topics covered during this course. 90分	Consolidate the course content. 90分
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	none	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	participation: 20%; midterm presentation and test: 40% final presentation and test: 40%	

その他	0	none
教科書		
none		
参考文献		
none		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 選択必修B					
科目名		地域研究Ⅲ				ナンバリング	3708
配当年次	2年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	2
担当教員	魯 諄						
授業の位置づけ							
ディプロマポリシーの「グローバル社会の人々との信頼関係を構築し、異文化社会に対する正しい理解と協調の精神を持つことができる。」ことと関係がある科目である。日本と関わりの深い東アジア地域の近現代史を踏まえながら、現在地域が抱える諸問題についての理解を深めるための科目である。							
授業の概要							
この授業は、日本と歴史的にかかわりが深い、中国大陸や朝鮮半島を含む東アジア地域について学ぶ。この授業では、現在の日本の社会や文化を理解するうえでも必要不可欠な東アジア地域の社会や文化、あるいは政治経済について、地域全体の特徴から各国の文化的背景などについて、歴史と地理的広がり二つの軸から立体的に理解することを目指す。							
到達目標							
東アジア地域の多様性を理解し、地域が抱える課題を複眼的に考察する姿勢を養うことを目指す。							
授業の方法							
主として配布プリントや視聴覚資料を用いて講義形式で進める。なお、受講者の関心に沿って、各回のテーマと内容を微調整する場合がある。							
ICT活用							
Google Classroomを用いた双方向授業を取り入れる。教員自らの取材資料、SNS上の動画等を取り入れる。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
授業全体の理解度、独自の考えが生まれたのかをリアクションペーパーで確かめ、そのフィードバックも行う。プレゼンテーションについては事前に個別指導を行い、講義で適宜コメントする。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	①授業の概要を説明する ②第1セクション 東アジアを知る(第1～3回) 第1セクションでは、東アジアの概念と歴史について学ぶ。 第1回:「狭義の東アジア」と「広義の東アジア」	シラバスを良く読み、自分の問題意識を整理すること。(60分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第2回	第2回:東アジアの近現代史 19世紀半ばから、長く続いた中国を中心とする伝統的な「東アジア国際秩序」が、欧米中心の国際社会の中に組み入れられた。東アジア諸国は各自に近代国家へ進むとともに、主権国家関係が形成しつつある。この過程で、日本がまず成功したが、アジア共栄の考えによって、アジア地域を戦争の泥沼に陥った。戦争は終わっても、課題が残された。	指示する文献(プリント)を熟読し、授業までにレジュメ(プリントの内容のまとめと自分自身の考えなど)を提出すること。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習し、関心を持つテーマについてのプレゼンと議論の準備をすること。(90分)
担当教員			
第3回	第3回:現在の東アジア 経済関係の緊密化、盛んだ文化交流、残された課題も多い。	指示する文献(プリント)を熟読し、授業までにレジュメ(プリントの内容のまとめと自分自身の考えなど)を提出すること。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習し、関心を持つテーマについてのプレゼンと議論の準備をすること。(90分)
担当教員			
第4回	第2セクション(第4～7回) 東アジア地域の課題 第4回:領土問題(尖閣諸島、竹島、南シナ海、北方領土) 各国の歴史教科書から領土問題に関する立場を知る。	指示する文献(プリント)を熟読し、授業までにレジュメ(プリントの内容のまとめと自分自身の考えなど)を提出すること。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習し、関心を持つテーマについてのプレゼンと議論の準備をすること。(90分)
担当教員			

第5回	第5回:歴史認識問題 慰安婦問題や南京事件に対する日中韓の認識の違いを知り、未来志向の国際関係の構築において、歴史認識の重要性について考える。	指示する文献(プリント)を熟読し、授業までにレジュメ(プリントの内容のまとめと自分自身の考えなど)を提出すること。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習し、関心を持つテーマについてのプレゼンと議論の準備をすること。(90分)
担当教員			
第6回	第6回:朝鮮半島問題 朝鮮戦争の歴史から、南北関係や拉致問題、核問題まで、朝鮮半島の分断が東アジアに与える影響について考える。	指示する文献(プリント)を熟読し、授業までにレジュメ(プリントの内容のまとめと自分自身の考えなど)を提出すること。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習し、関心を持つテーマについてのプレゼンと議論の準備をすること。(90分)
担当教員			
第7回	第7回:台湾問題、香港問題 台湾問題と香港問題の本質は何であるかについて考える。	指示する文献(プリント)を熟読し、授業までにレジュメ(プリントの内容のまとめと自分自身の考えなど)を提出すること。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習し、関心を持つテーマについてのプレゼンと議論の準備をすること。(90分)
担当教員			
第8回	第8回:プレゼンテーション I アクティブラーニングと位置づけ、関心を持つテーマについて、グループワークで口頭発表を行う。	問題意識を整理し、プレゼンテーションの準備をすること。(90分)	配布プリントと講義の内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第9回	第3セッション:(第9～13回)東アジア地域の文化 第3セッションでは、東アジア地域の文化交流について議論し、ネット時代における若者文化にも注目する。 第9回:漢字について学ぶ。	指示する文献(プリント)を熟読し、授業までにレジュメ(プリントの内容のまとめと自分自身の考えなど)を提出すること。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習し、関心を持つテーマについてのプレゼンと議論の準備をすること。(90分)
担当教員			
第10回	第10回:韓流ドラマやK-POPなど、Z世代で人気を集めている流行文化について学ぶ。	指示する文献(プリント)を熟読し、授業までにレジュメ(プリントの内容のまとめと自分自身の考えなど)を提出すること。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習し、関心を持つテーマについてのプレゼンと議論の準備をすること。(90分)
担当教員			

第11回	第11回:「文化窃盗」をめぐる中韓のトラブル「江陵端午祭」、韓服と漢服、食文化などの例を挙げて、トラブルの原因を説明する。	指示する文献(プリント)を熟読し、授業までにレジュメ(プリントの内容のまとめと自分自身の考えなど)を提出すること。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習し、関心を持つテーマについてのプレゼンと議論の準備をすること。(90分)
担当教員			
第12回	第12回 仏教と儒教 仏教の伝播と受容について学び、儒教への影響について考察する。	指示する文献(プリント)を熟読し、授業までにレジュメ(プリントの内容のまとめと自分自身の考えなど)を提出すること。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習し、関心を持つテーマについてのプレゼンと議論の準備をすること。(90分)
担当教員			
第13回	第13回 生活文化 食文化や祝祭日など伝統的なテーマから、モバイル決済、デリバリー、お化粧品など現代若者に親しみやすいテーマを扱う。	指示する文献(プリント)を熟読し、授業までにレジュメ(プリントの内容のまとめと自分自身の考えなど)を提出すること。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習し、関心を持つテーマについてのプレゼンと議論の準備をすること。(90分)
担当教員			
第14回	第14回 プレゼンテーションⅡ 関心を持つテーマについて、グループワークで口頭発表を行う。	問題意識を整理し、プレゼンテーションの準備をすること。(90分)	配布プリントと講義の内容を復習すること。(90分)
担当教員			
第15回	講義のまとめ:講義全体を振り返り、期末レポートの課題を提示する。	これまでの全ての授業の内容とそれに対する考えを自分なりに整理しておくこと。(90分)	フィードバックを参考に自分なりにこの授業で得た知識を考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行いません。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業への参加態度(20%)、文献の報告及び口頭発表(40%)、期末レポート(40%)	

その他	0	
教科書		
プリントを配布または配信する。		
参考文献		
参考文献は、講義開始時や、各回の授業で紹介する。		
履修条件・留意事項等		
1回目の授業に必ず出席すること(やむを得ず出席できない場合、事前に教員に連絡すること)。指定する文献には、参加者全員が、前もって必ず目を通しておくこと。無断欠席は必ず減点要素になる。		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		教養科目 教養科目					
科目名		キャリア形成				ナンバリング	1135
配当年次	2年	開講学期	2023年前期	区分	講義	単位	1
担当教員	小山田 健						
授業の位置づけ							
「キャリア」とは、「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね」と定義される。私たちが社会生活や職業生活をしていく上では、生涯を通した「キャリア形成」や「キャリア発達」が重要となる。本講義は、で、私が提案した役割実践法とこれに基づく問題解決、課題達成を図る様々な実践事例を学び(知識・技能)、自身のキャリア形成を設計し就業に向けての方策を主体的にプランニングし(関心・意欲・態度)、その基盤となる家庭生活や社会生活といった人生設計を意識化する。本科目は、ディプロマポリシー「北海道、日本及び世界諸地域の課題とその分析や解決を考えることのできる、世界諸地域の言語、政治、経済、社会、文化等の国際教養を身につけている(知識・技能)」等に関連する科目である。							
授業の概要							
この講義では、キ自身のキャリア形成の設計を行う。 その上で、各自が希望する職業調べを行い、その職業に就くための計画を作成する。さらにその職業生活での収入を想定し、家庭生活や社会生活を含めた人生設計・プランニングをする。加えて、退職後の生活についてもプランニングを行う。							
到達目標							
この講義では、キャリアプランニングの方法論を学んだ上で、自身の希望する職業について調べ、職業と家庭生活や社会生活のバランスを図りながら、生涯を通して自己実現と多様な人々との共生をどのようにしていくのかについての人生設計・プランニングを行うことを目的とする。							
授業の方法							
アクティブラーニング(AL)のために、発表、討論、ゲーミング、調べ学習、グループ学習等、様々な授業方法を活用する。							
ICT活用							
スマートフォン、パソコンなどのICT機器やインターネットやWebコンテンツなどを活用する。							
実務経験のある教員の教育内容							

民間企業等で20年の経験があり。ビジネス実務についての幅広い知識を有している。この経験を活かして、学術的な視点だけでなく、ビジネスの場における実践的内容の指導も行う。

課題に対するフィードバックの方法

学びの協働性を大切にし、授業内での学生同士のフィードバックを重視する。受講記録カードに毎時間の学びや質問等を記入し、授業の「ふりかえり」を行い教員や学生同士の意見交流を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	○オリエンテーション ・授業の内容と進め方と到達目標、準備・事後学習、課題、成績評価について説明する。	これまでの人生について振り返り、行ってきたことをまとめておくこと(90分)	自身の希望する職業、家庭生活や社会生活について、構想をまとめておく((90分)。 *プライバシーへの配慮
担当教員			
第2回	○就職について考えるⅠ(就活スタートアップについて) →就職支援サイト会社様からのお話(就職の傾向と対策、準備について) →講義+個人ワーク+グループワーク	前回配布の資料を読んでおくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第3回	○就職について考えるⅡ(就活スタートアップについて) →就職支援サイト会社様からのお話 *第2回授業とは別な会社様が来てお話をさせていただきます。 →講義+個人ワーク	前回配布の資料を読んでおくこと(90分)	前回配布の資料を読んでおくこと(90分)
担当教員			
第4回	○就職について考えるⅣ(北海道企業について) →就職支援サイト会社様からのお話 *第2回、第3回授業とは別な会社様(北海道企業に精通している会社様)が来てお話をさせていただきます。 →講義+個人ワーク	前回配布の資料を読んでおくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			

第5回	○就職について考えるⅣ(中小企業について) →ゲスト講義(中小企業家同友会様)＋講義(教員)＋個人ワーク	前回配布の資料を読んでおくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第6回	○職種や働き方を知る(業界分析研究と企業ノートの作り方) →講義＋個人ワークを中心に行っていきます	前回配布の資料を読んでおくこと(90分)	前回配布の資料を読んでおくこと(90分)
担当教員			
第7回	職種や働き方を知る(学部に関連就職先について①) →講義＋個人ワークを中心に行っていきます	前回配布の資料を読んでおくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第8回	○最終レポートの作成 (レポートの内容は当日発表します)	これまでの配布の資料を読んでおくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業態度・事前事後レポート・授業内のレポート 授業内容を復習しまとめておくこと(90分)	
その他	0		
教科書			

なし(授業ごとに、資料を配布します)

参考文献

授業ごとに紹介していく。

履修条件・留意事項等

この科目は、国際学部「キャリアデザイン」の科目と一部重複して行い、隔週(2週間に1回／第1・2ターム)となります。
また、この科目は、本学就職課の協力やサポートいただき行います。よって、就職活動をサポートしている外部会社様がこられたり、本学就職課の職員も参加しますので、毎回、挨拶やお礼などがしっかりと行えるようにしてください。

備考欄

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		教育の基礎的理解に関する科目等 教育実践に関する科目					
科目名		中学校教育実習				ナンバリング	4064
配当年次	4年	開講学期	2023年前期	区分	実習	単位	4
担当教員	常田 拓孝						
授業の位置づけ							
教育実習を控え、これまでに学んだ「教職に関する科目」、「教科に関する科目」など教育実習生として求められる基本的な知識や技術を実際の教育現場において使うことができるように再確認する科目である。さらに、教育実習を実り多いものとするための最終準備、実施後の評価を行う科目である。							
授業の概要							
教育実習での必要な必要な知識や姿勢を再確認し、さらに教育実習で学んだ成果、課題等を明らかにする。							
到達目標							
1 各種講義で学んだ知識を教育実習に活かすことができる。 2 教師の業務、責任、使命等について教育現場から述べることができる。 3 残された大学での学修課題を明確に説明することができる。							
授業の方法							
配布物を用いて学修を進める。 学習指導案の作成し、模擬授業を行い、相互評価を行う。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

中学校教員を務め、学校運営、学校経営の経験が長く、教員養成に関して幅広い知識を有している。教育実習の実際についても経験が豊富であり、教科指導、学級経営等の実際について指導を行う。

課題に対するフィードバックの方法

教育実習期間中に実習の実際を捉え、成果及び改善点をアドバイスすることにより、教育実習の充実へのフィードバックとする。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【オリエンテーション 教育実習の準備】教育実習に備えて準備すること、心構え等について理解する。	これまでの教職に関する講義の学修内容を振り返っておくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第2回	【指導過程1】学習指導案の作成の仕方、生徒の学びに沿った指導過程等について説明できる。	学習指導要領の内容を振り返っておくこと(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第3回	【学習指導案と模擬授業 その1】教育実習で担当する教科の学習指導案を作成し、模擬授業を行い、相互評価し、改善策を検討する	当該する教科の学習指導案、教科書を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第4回	【学習指導案と模擬授業 その2】学生自身が教育実習で担当する教科の学習指導案を作成し、模擬授業を行う。その内容について交流し、検討する。	前時の資料等を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		

第5回	【学習指導案と模擬授業 その3】学生自身が教育実習で担当する教科の学習指導案を作成し、模擬授業を行う。その内容について交流し、検討する。	前時で作成した学習指導案をもとに授業を行う準備をすること。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第6回	【教育実習】	教材研究、実習校の概要についての確認を行う。(90分)	実習日誌の確認、教材研究などを行う。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第7回	【教育実習】	教材研究、実習校の概要についての確認を行う。(90分)	実習日誌の確認、教材研究などを行う。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第8回	【教育実習】	教材研究、実習校の概要についての確認を行う。(90分)	実習日誌の確認、教材研究などを行う。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第9回	【教育実習】	教材研究、実習校の概要についての確認を行う。(90分)	実習日誌の確認、教材研究などを行う。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第10回	【教育実習】	教材研究、実習校の概要についての確認を行う。(90分)	実習日誌の確認、教材研究などを行う。(90分)
担当教員	常田 拓孝		

第11回	【教育実習】	教材研究, 実習校の概要につ いての確認を行う。(90分)	実習日誌の確認, 教材研究など を行う。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第12回	【教育実習】	教材研究, 実習校の概要につ いての確認を行う。(90分)	実習日誌の確認, 教材研究など を行う。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第13回	【教育実習】	教材研究, 実習校の概要につ いての確認を行う。(90分)	実習日誌の確認, 教材研究など を行う。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第14回	【教育実習】	教材研究, 実習校の概要につ いての確認を行う。(90分)	実習日誌の確認, 教材研究など を行う。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第15回	【教育実習のまとめ】教育実習を終えての成果, 課題を明 確にし, 学校教育現場の理解を深め, 今後の大学での学 修計画に資することをあらためて確認する。	これまでの配付資料を読み込ん でおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90 分)
担当教員	常田 拓孝		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試以外(授業内容の課題・ 参加度・出席態度等)	0		

その他	100	教育実習校による「教育実習評価」を参考とする。
教科書		
1 講義用資料を配付する。		
参考文献		
1 中学校, 高等学校学習指導要領／文部科学省 2 教育実習担当教科の教科用図書(教科書)		
履修条件・留意事項等		
国際言語学科教育実習履修条件を満たしていること		
備考欄		
なし		